

報商品粧化物間小京東

No. 378 (Tri-monthly) (The Tokyo Toilet Trade Journal) Sunday July 1st 1906

●帝國化粧品俱樂部製品
代理店

日本 東京
大和屋小兵衛(通鹽町)
田中花王堂(馬喰町三丁目)
佐々木玄兵衛(銀座一丁目)
脇田盛具堂(旗山町三丁目)
柳下藤五郎(通油町)

此のクラブ洗粉もクリモラとミルク及び卵と
並来石鹼の貴重なる原料のポスターを以て
造製せらるる

帝國化粧品俱樂部



クラブ洗粉

クラブ洗粉は

●帝國化粧品俱樂部 總代理店
輸出入雜貨 化粧品商 中山太陽堂

(電話浪花 一四七三番)

登々年前金壹圓

料

行數同數割引なし

印刷人

成

和

社

發行所

東京

市

本町

一丁目

番

五

番

目

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

完全無鉛白粉

洗面香水 **セーネー**

スノウ白粉、ウス化粧水、香水、香油、露、元香油、煉油、白粉、石鹼、化粧品問屋

東京日本橋區設町

よしや卸賣店

代理店 西 大阪 藤森源之助

本舖 東京 安藤井筒堂

安藤井筒堂

專賣美術罐入發賣



ライオン

お肌が


粉と煉製あり
共に特殊の香味を有し且
能く口中を爽快ならしむ
産額多大海外の
需用又頗る多し
小林富次郎發賣
●本舖 東京神田
●支舖 大阪橋本町



スワン

純白なる浮石粉
にして泡立ちよ
く頗る經濟的な
る家庭用石鹸な
り高雅なる香氣
を有し肌を艶麗
ならしむ
特約店
ライオン
小林本支店
大橋屋
柳下
馬喰
田中
花王
堂

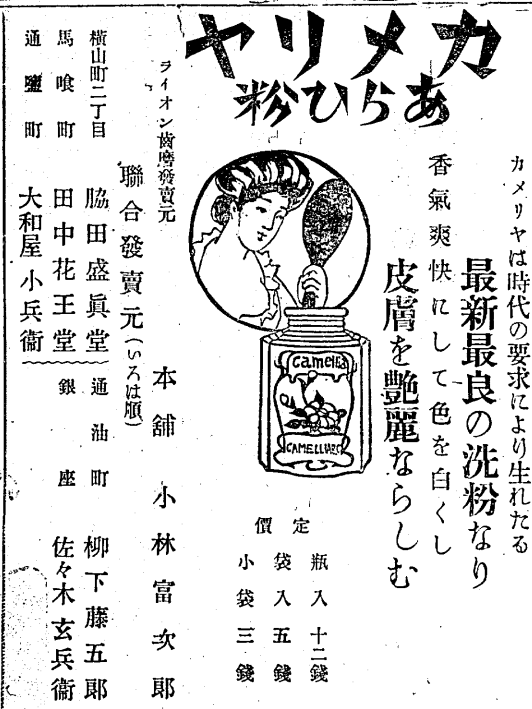
元祖 英國
製造 日本
代理 東京
支店 神田
會商 橋本
町



ドーフスキス

世界の婦人中皮膚の
艶美しく嫩の少なき
は米國婦人に勝れた
るはなしスキンプ
ドは米國婦人の一日も
缺くべからざる化粧料
として使用しつゝあり

米國最新日用化粧料
SKINFOOD
大正十四年六月五日
日本府會堂發賣



カメリア

粉ひらあ

カメリアは時代の要求により生れたる
最新最良の洗粉なり
香氣爽快にして色を白くし
皮膚を艶麗ならしむ

ライオン齒粉發賣元
聯合發賣元(いろは順)
本舖 小林富次郎
通油町 柳下藤五郎
馬喰町 田中花王堂
大和屋小兵衛
佐々木玄兵衛

價定 瓶入 十二錢
袋入 五錢
小袋 三錢

家督相續廣告

大正十四年六月五日
親權者 今井のぶ
相續人 今井樟太郎
今井ゆう
相續人未成年付
明治三十九年六月五日
今井のぶ



REGISTERED TRADE MARK
JUN-SOAP
純后殿
大正十四年六月五日

發賣種類及定價表

花王白粉種目
○乳白塊錫蓋(煉製) 二十五〇 一箱半打入
○同 (煉製) 十八〇 一箱一打入
○乳白塊共蓋(煉製) 三十 一箱半打入
○同 (煉製) 二十 一箱半打入
○透明塊共口(水製) 二十 一箱三本入
以上

花王白粉本舖
東京市日本橋區橫山町
二丁目十二番地
電話 浪花四十二番

稟告

内務省東京衛生試驗所長 田原良純先生
同所技師藥學博士 乙葉辰三先生
同衛生試驗所技師主任 乙葉辰三先生
高等化粧白粉完全無毒
證明報告番號
○新花王白粉 第四百一十一號
○花王おしろい 第四百四十六號



○新花王白粉
○花王おしろい



營業御披露

拜啓者、御厚情を蒙り、難有奉存候。本宅に於て、營業能は、處處今般、販賣擴張し、爾後一層勉勵可仕候。間舊に倍し、御引立の程、偏に奉願候。

東京市東山町三丁目一番地大通
龍甲柳井 前田屋 謹啓
余清水徳次郎

美人スルクス

東京市日本橋區人形町通り
發賣元 桑原花生堂

此全形ナキナ物ハ造リナリ

美人スルクス白粉

洗

東京市深川區番町
渡邊商店

昨夜十一時過、Monte Carlo へ眠られざるままに、(蒸し熱き) 爲め、出れば、冷風は強々として来り、星斗計られ、波は輕々、船を叩く、時にたゞ、船樓の舵車を轉ずる音を聞くのみ、滿船音に、就きたりと見えて、一人、人語なく、實に、神來の仙境詩人ならざる余にすら、詩興の横溢せんとするを覺えぬ。

遊子圖を辭して、初めて父母の恩を知るのと、古何、身に適切に御座候、特に昨日は故善照院殿の御命日に候へば、心の中ながら御念佛申上候、御身御墓參の當は、二人分御拜なるべく候。

昨夜十一時過、Monte Carlo へ眠られざるままに、(蒸し熱き) 爲め、出れば、冷風は強々として来り、星斗計られ、波は輕々、船を叩く、時にたゞ、船樓の舵車を轉ずる音を聞くのみ、滿船音に、就きたりと見えて、一人、人語なく、實に、神來の仙境詩人ならざる余にすら、詩興の横溢せんとするを覺えぬ。

遊子圖を辭して、初めて父母の恩を知るのと、古何、身に適切に御座候、特に昨日は故善照院殿の御命日に候へば、心の中ながら御念佛申上候、御身御墓參の當は、二人分御

唯一本船は Singapore を距る 1200 ノット
Columbo 1500 ノットの大印度洋を航海致居候。

流石印度洋なり、昨日今日とも、風なく、波も、浪も、恰も品海、の如く、なれども、其のウネリの大なるは、驚く可き程にて、六千八百噸の此の大船も、随分、(横にゆれる) 致し候、甲板は比較的、静かとは申ながら、只今、一、二等船客のみ、百廿八人程も、乗り居るとして、なかく、眠か

歐米漫遊の途

唯一本船は Singapore を距る 1200 ノット
Columbo 1500 ノットの大印度洋を航海致居候。

流石印度洋なり、昨日今日とも、風なく、波も、浪も、恰も品海、の如く、なれども、其のウネリの大なるは、驚く可き程にて、六千八百噸の此の大船も、随分、(横にゆれる) 致し候、甲板は比較的、静かとは申ながら、只今、一、二等船客のみ、百廿八人程も、乗り居るとして、なかく、眠か



(信音の心理本々佐) (光風のソコソコ)

昨夜十一時過、Monte Carlo へ眠られざるままに、(蒸し熱き) 爲め、出れば、冷風は強々として来り、星斗計られ、波は輕々、船を叩く、時にたゞ、船樓の舵車を轉ずる音を聞くのみ、滿船音に、就きたりと見えて、一人、人語なく、實に、神來の仙境詩人ならざる余にすら、詩興の横溢せんとするを覺えぬ。

遊子圖を辭して、初めて父母の恩を知るのと、古何、身に適切に御座候、特に昨日は故善照院殿の御命日に候へば、心の中ながら御念佛申上候、御身御墓參の當は、二人分御

昨夜十一時過、Monte Carlo へ眠られざるままに、(蒸し熱き) 爲め、出れば、冷風は強々として来り、星斗計られ、波は輕々、船を叩く、時にたゞ、船樓の舵車を轉ずる音を聞くのみ、滿船音に、就きたりと見えて、一人、人語なく、實に、神來の仙境詩人ならざる余にすら、詩興の横溢せんとするを覺えぬ。

遊子圖を辭して、初めて父母の恩を知るのと、古何、身に適切に御座候、特に昨日は故善照院殿の御命日に候へば、心の中ながら御念佛申上候、御身御墓參の當は、二人分御

唯一本船は Singapore を距る 1200 ノット
Columbo 1500 ノットの大印度洋を航海致居候。

流石印度洋なり、昨日今日とも、風なく、波も、浪も、恰も品海、の如く、なれども、其のウネリの大なるは、驚く可き程にて、六千八百噸の此の大船も、随分、(横にゆれる) 致し候、甲板は比較的、静かとは申ながら、只今、一、二等船客のみ、百廿八人程も、乗り居るとして、なかく、眠か

唯一本船は Singapore を距る 1200 ノット
Columbo 1500 ノットの大印度洋を航海致居候。

流石印度洋なり、昨日今日とも、風なく、波も、浪も、恰も品海、の如く、なれども、其のウネリの大なるは、驚く可き程にて、六千八百噸の此の大船も、随分、(横にゆれる) 致し候、甲板は比較的、静かとは申ながら、只今、一、二等船客のみ、百廿八人程も、乗り居るとして、なかく、眠か

販路擴張之爲、當分ノ内左之通、景品加入、大形四拾八打入、壹箱ニ付、畫はがき、貳拾四枚、但シ印紙貼付、小形四拾八打入、壹箱ニ付、畫はがき、貳拾四枚、但シ印紙貼付、東京市小橋區、商問屋聯合發賣

扇問屋

御進物用、御姓名入扇は、勉強調製仕候

東京市日本橋區堀江町貳丁目

平谷合資會社

電話番千五百〇八番

ムスク香水廣告二就テノ廣告

ムスク香水は、全國到る所、所賣樂小問、本舖、東京市日本橋區、本石町四丁目、松澤常吉

右の如く、化粧の乘無代進呈廣告を、各日刊新聞に掲載致し候、付、自然中瓶の賣行、宜しからんと存候間、此際特に中瓶御仕入、御販賣の程奉願上候

ムスク香水は、全國到る所、所賣樂小問、本舖、東京市日本橋區、本石町四丁目、松澤常吉

右の如く、化粧の乘無代進呈廣告を、各日刊新聞に掲載致し候、付、自然中瓶の賣行、宜しからんと存候間、此際特に中瓶御仕入、御販賣の程奉願上候

意注御に驗石ンサトホ澤松はに節の入仕御はれあ者るす賣販を品似類來近



松澤ホサニ石驗

(錢廿形大)
(錢十形小)

(八個三形大)
(八個六形小)

員合組商卸 物品註化 京東 賣販約特 吉常澤松 區橋本日京東 舖本

各國工業の流儀

△各國の工業 日本工業は、併し高い處から見ると、赤線がところどころへこぎ、歩いて居るやうに、仕事も同じやうである。支那は、純然として居るやうで、自耳義、利爾、瑞典、諸國などは、先きから進んで居るより、後から進んで居るが、早い、この世界の中で、亞米利加、獨逸、英吉利、佛蘭西の工業は、なか見架がある、その各特長を、

△亞米利加 總て廣告を大袈裟にするのは、米國が一番ではないか、何故にするのかといふと、英、獨逸、に足らぬ、一つ廣告して驚かしてやうという處から、併し廣告ばかりでは驚かない、廣告に併し、大袈裟な廣告をして、それも驚かぬので、最も大方のエンジン、之に伴ふボルトを大袈裟にやつて居る。大體米國の會社は、大袈裟で、大きい資本、大きい器械で、大袈裟で、そして最も新しいことをやつて居る、要するに米國は大袈裟である。

△佛蘭西 佛蘭西はナポレオン一世が工業を奨励して以來、美術は工業全體に適用されて、佛蘭西の物は何となく意匠に富んで居る。そしてその意匠は、意匠家の研究の結果でなく、永年來美術家の研究の結果で居る。永年來美術家は、一寸外見の上の器用なものを作り出すのが長處で、美術を工業に適用することが長所である。

△獨逸 獨逸は近世の工業といふことを自分の國から世界に出さうと考へた、近世の工業とは成るべく多数の品物を造り出すことで、世界には上等の品物を用ひる人は、少なく、中等以下の品物を用ひる人が多く、より多い、そのより多い需要を自分の國の工業で以て充たすのである。故に獨逸の

品物は英國の品物よりも善くはない、佛蘭西の品物よりも器用でない、併し價格が安いのである。廉價といつても、品質を認めて、その善く、最も便利な機械で、學問の研究により、廉價で製するものである、獨逸は安直な品物を多量に製することを目的として居るのである。

△英吉利 成たけ品物を手堅く作り、約束を厳守する處から、何でも他國のよりは、値段が高いが耐久がする、即ち總ての工業を信用の上で設けたので、その由來は長い歴史がある、工場を「ファクトリー」といふのは、代理商人即ち「エージェント」のこと、英國が工業、上代理商人を各地に置いて、その注文によつて本國から取り寄せて、其の注文を引受ける、それが数重なつて工場が必要で起つて出来た、その物品引渡の上に契約がある、契約は信用によつて取引するので、本國から他へ品物を送るときに、自分の處の番印が誤魔化してしまつたら、本國の本店が成立た、信用を重んずることに、最も必要なる處から、商工業の上に於て信用が最も重んぜらるるのである。

△日本 英國は信用を以て、獨逸は近世工業を以て、米國は大袈裟を以て、佛蘭西は器用を以て、その商工業の旗印として居る、日本はこの四個の長所を綜合して居るのである。若し、これらといたし、世界の工業國の仲間に入らば出来ぬ、清、韓は今後世界に於ける商工業の一大發展地である、一大戦地である、此の地に隣んで工業を擴張するに、何れかの旗印が必要である、競争に軍旗が必要なると同じに、工業にも、其の旗印が鮮明でなければならぬ、日本の工業の旗印は何處にあるか、能くその長所を發見して之を適用するが、最も所業のこと、この旗印の下に於て、今後工業を發見して、最も急務と信するるのである、(大日本一國)

陸海軍御用



陸海軍御用
艶小町透明白粉本舖
東京市日本橋區馬喰町
總 舖 編 王 堂
特約店 月石驗本舖
東京市日本橋區横山町
清水 開 花 堂
全國到る處に取次販賣所あり

足らぬ油
すは油
なんか
ななな
のほろ
力持ち
持巻
ふらふら油
本舖

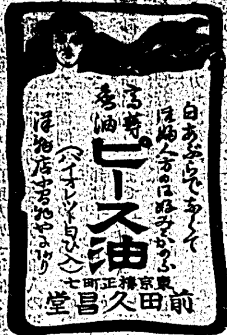
宮内省御料品 本舖
東京市日本橋區小川潮華園

カサカサオイル
カサカサオイルは、アロマチックな香りを持ち、皮膚を清潔にし、髪を艶やかにします。本舖にて取り扱っております。

小石
小石は、皮膚を清潔にし、髪を艶やかにします。本舖にて取り扱っております。

賣取約特

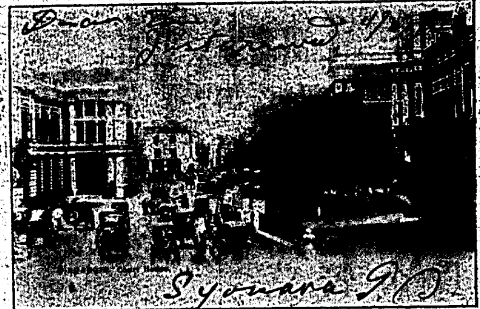
日本橋區本町三丁目
日本橋區本町三丁目
日本橋區本町三丁目
日本橋區本町三丁目
日本橋區本町三丁目
日本橋區本町三丁目
日本橋區本町三丁目
日本橋區本町三丁目
日本橋區本町三丁目
日本橋區本町三丁目



白あられ
白あられ
白あられ
白あられ
白あられ
白あられ
白あられ
白あられ
白あられ
白あられ

軍海陸
るせ有を譽名の品納萬巨
ばら歯磨
(製りね) (製末粉)
店理代
郎五藤下柳 町油通區橋本日京東
園光東 町屋村南區橋京東
元賣發

本組各員は、東京府内各區の遊藝場を、
訪してその遊藝を、東京府内各區の遊藝場を、
訪してその遊藝を、東京府内各區の遊藝場を、
訪してその遊藝を、東京府内各區の遊藝場を、
訪してその遊藝を、東京府内各區の遊藝場を、
訪してその遊藝を、東京府内各區の遊藝場を、
訪してその遊藝を、東京府内各區の遊藝場を、
訪してその遊藝を、東京府内各區の遊藝場を、
訪してその遊藝を、東京府内各區の遊藝場を、
訪してその遊藝を、東京府内各區の遊藝場を、



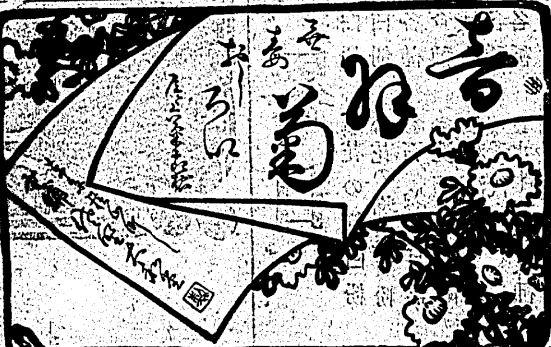
遊藝雑話
本組各員は、東京府内各區の遊藝場を、
訪してその遊藝を、東京府内各區の遊藝場を、
訪してその遊藝を、東京府内各區の遊藝場を、
訪してその遊藝を、東京府内各區の遊藝場を、
訪してその遊藝を、東京府内各區の遊藝場を、
訪してその遊藝を、東京府内各區の遊藝場を、
訪してその遊藝を、東京府内各區の遊藝場を、
訪してその遊藝を、東京府内各區の遊藝場を、
訪してその遊藝を、東京府内各區の遊藝場を、
訪してその遊藝を、東京府内各區の遊藝場を、

行動か何かのやつである。
行動か何かのやつである。
行動か何かのやつである。
行動か何かのやつである。
行動か何かのやつである。
行動か何かのやつである。
行動か何かのやつである。
行動か何かのやつである。
行動か何かのやつである。
行動か何かのやつである。

（信音の事理水々佐）（光風のルイガソレ）
（信音の事理水々佐）（光風のルイガソレ）
（信音の事理水々佐）（光風のルイガソレ）
（信音の事理水々佐）（光風のルイガソレ）
（信音の事理水々佐）（光風のルイガソレ）
（信音の事理水々佐）（光風のルイガソレ）
（信音の事理水々佐）（光風のルイガソレ）
（信音の事理水々佐）（光風のルイガソレ）
（信音の事理水々佐）（光風のルイガソレ）
（信音の事理水々佐）（光風のルイガソレ）

チグといつて、遊藝場を、
チグといつて、遊藝場を、
チグといつて、遊藝場を、
チグといつて、遊藝場を、
チグといつて、遊藝場を、
チグといつて、遊藝場を、
チグといつて、遊藝場を、
チグといつて、遊藝場を、
チグといつて、遊藝場を、
チグといつて、遊藝場を、

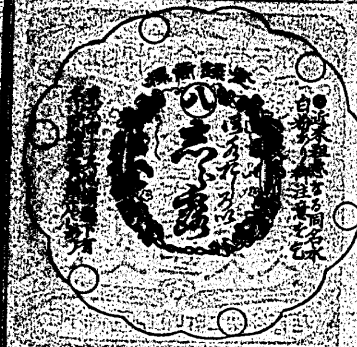
伊勢幸商店營業品目録
花簪各種
長簪各種
木櫛各種
東洋各種
各種流行新形
各種流行新形
各種流行新形
各種流行新形
各種流行新形
各種流行新形
各種流行新形
各種流行新形
各種流行新形
各種流行新形



品質香氣最良
東京馬喰町長瀬製
世の化粧は化粧の化粧
世の化粧は化粧の化粧
世の化粧は化粧の化粧
世の化粧は化粧の化粧
世の化粧は化粧の化粧
世の化粧は化粧の化粧
世の化粧は化粧の化粧
世の化粧は化粧の化粧
世の化粧は化粧の化粧



賣取約特
松澤常吉
香料部
松澤常吉
香料部
松澤常吉
香料部
松澤常吉
香料部
松澤常吉
香料部



東京星野の人造麝香
 近來種々の廉價品あり注意の上御求められ
 製造東京 田坂金時堂
 元津

三多印白粉
 印白粉の大自然
 のびがよくつやをだし
 きめとこまにするが
 にほひはたかきふじのやま
 製造東京 田坂金時堂
 元津



カルネはみ
 東京尾張明光堂

登録商標御注意
 星野與兵衛

博覽會資料
 ▲参考館の創設 第五回博覽會に初めて参
 考館を設け外品の出展を許したるが如きは
 其の特徴の一なり當初萬國貿易品部を設け
 て外國品を出品せしめんとする際ありしも
 後ち参考館を設くることに決し初の計畫は
 本館の規模極めて狭少なりしも後ち其設計
 を變じて千四百五十八坪餘と爲し更に二百
 五十坪を増築し建坪合計千七百坪餘となせ
 り然れども出品の申込は豫想外に多數なり
 し爲め已むを得ず要求面積を削減し可成多
 數の出品者に満足
 與ふことを努めた
 り参考館の出品者は
 英、佛、獨、米、露、
 澳、伊等殆んど世界
 各國に亘り其人員百
 廿五人にして其點數
 三萬一千六百四點の
 多きに上れが殊に清
 國、韓國、北米オレ
 ゴン州、布哇、蘭領
 印度、オランダ及加
 奈太の如きは政府と
 して参出品し且つ
 代表者を派遣せり而
 して参考館出品希望者にして其の陳列面積
 狹隘なる爲め自費を以つて會場内に別館
 を建設したるものは加奈太政府及其他五
 會社、商會にして建坪總計七百七十五坪に
 達しにき
 ▲内國博覽會の發達 凡そ博覽會の開設に
 關し既往博覽會の施設は最も重要なる關係
 を有す明治十年第一回内國勸業博覽會開
 設以來前後五回に及び其規模及び施設は度
 數を重ねるに益々大且盛を致せること
 左表の如し



開設地 坪數 建築費 備註
 第一回(明治十年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第二回(明治二十年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第三回(明治三十年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第四回(明治三十四年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第五回(明治三十八年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第六回(明治四十一年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第七回(明治四十四年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第八回(明治四十七年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第九回(明治五十年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第十回(明治五十二年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第十一回(明治五十四年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第十二回(明治五十六年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第十三回(明治五十八年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第十四回(明治六十年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第十五回(明治六十二年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第十六回(明治六十四年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第十七回(明治六十六年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第十八回(明治六十八年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第十九回(明治七十年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第二十回(明治七十二年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第二十一回(明治七十四年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第二十二回(明治七十六年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第二十三回(明治七十八年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第二十四回(明治八十年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第二十五回(明治八十二年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第二十六回(明治八十四年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第二十七回(明治八十六年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第二十八回(明治八十八年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第二十九回(明治九十年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第三十回(明治九十二年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第三十一回(明治九十四年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第三十二回(明治九十六年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第三十三回(明治九十八年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第三十四回(明治九十年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第三十五回(明治九十二年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第三十六回(明治九十四年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第三十七回(明治九十六年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第三十八回(明治九十八年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第三十九回(明治九十年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第四十回(明治九十二年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第四十一回(明治九十四年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第四十二回(明治九十六年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第四十三回(明治九十八年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第四十四回(明治九十年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第四十五回(明治九十二年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第四十六回(明治九十四年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第四十七回(明治九十六年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第四十八回(明治九十八年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第四十九回(明治九十年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第五十回(明治九十二年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第五十一回(明治九十四年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第五十二回(明治九十六年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第五十三回(明治九十八年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第五十四回(明治九十年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第五十五回(明治九十二年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第五十六回(明治九十四年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第五十七回(明治九十六年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第五十八回(明治九十八年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第五十九回(明治九十年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第六十回(明治九十二年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第六十一回(明治九十四年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第六十二回(明治九十六年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第六十三回(明治九十八年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第六十四回(明治九十年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第六十五回(明治九十二年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第六十六回(明治九十四年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第六十七回(明治九十六年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第六十八回(明治九十八年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第六十九回(明治九十年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第七十回(明治九十二年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第七十一回(明治九十四年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第七十二回(明治九十六年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第七十三回(明治九十八年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第七十四回(明治九十年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第七十五回(明治九十二年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第七十六回(明治九十四年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第七十七回(明治九十六年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第七十八回(明治九十八年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第七十九回(明治九十年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第八十回(明治九十二年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第八十一回(明治九十四年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第八十二回(明治九十六年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第八十三回(明治九十八年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第八十四回(明治九十年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第八十五回(明治九十二年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第八十六回(明治九十四年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第八十七回(明治九十六年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第八十八回(明治九十八年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第八十九回(明治九十年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第九十回(明治九十二年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第九十一回(明治九十四年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第九十二回(明治九十六年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第九十三回(明治九十八年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第九十四回(明治九十年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第九十五回(明治九十二年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第九十六回(明治九十四年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第九十七回(明治九十六年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第九十八回(明治九十八年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第九十九回(明治九十年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇
 第一百回(明治九十二年) 東京 三、〇〇〇 〇〇〇〇〇

天狗印商品課目
 軍隊用向一式
 メリヤス類一式
 アミシヤツ類一式
 縮シヤツ類一式
 沓下サル股
 手袋タナル
 エッタル
 兵兒帶敷布
 網ハツカチーフ
 胸メカチーフ
 寝アミ敷卷
 右誠實を以て大勉強
 住候

歐米直輸入
 眼鏡
 商品目録御入用の方は御報次第贈呈す
 袋鏡
 問屋 尾張屋榮次郎
 東京市日本橋區山町三丁目
 電話 浪花七三〇
 電話 花七三〇

標商録登
驗石クヌム嶋敷
 製造元
相馬帝國社
 東京市日本橋區
 新高町七丁目
 六番地
 見本進呈願の
 方は郵税二錢
 御送付のこと
 (番七十九百八機新録電)



衛生空氣前髪
製謹松岩田原

徳田多助製
石工一ノ
堂英日澤入

本組各員凱旋人戰歴概(一)

本組各員凱旋人戰歴概(二)

本組各員凱旋人戰歴概(三)

本組各員凱旋人戰歴概(四)

本組各員凱旋人戰歴概(五)

本組各員凱旋人戰歴概(六)

本組各員凱旋人戰歴概(七)

本組各員凱旋人戰歴概(八)

本組各員凱旋人戰歴概(九)

本組各員凱旋人戰歴概(十)

本組各員凱旋人戰歴概(十一)

本組各員凱旋人戰歴概(十二)

本組各員凱旋人戰歴概(十三)

本組各員凱旋人戰歴概(十四)

本組各員凱旋人戰歴概(十五)

本組各員凱旋人戰歴概(十六)

本組各員凱旋人戰歴概(十七)

本組各員凱旋人戰歴概(十八)

本組各員凱旋人戰歴概(十九)

本組各員凱旋人戰歴概(二十)

本組各員凱旋人戰歴概(二十一)

本組各員凱旋人戰歴概(二十二)

本組各員凱旋人戰歴概(二十三)

本組各員凱旋人戰歴概(二十四)

本組各員凱旋人戰歴概(二十五)

本組各員凱旋人戰歴概(二十六)

本組各員凱旋人戰歴概(二十七)

本組各員凱旋人戰歴概(二十八)

本組各員凱旋人戰歴概(二十九)

本組各員凱旋人戰歴概(三十)

本組各員凱旋人戰歴概(三十一)

本組各員凱旋人戰歴概(三十二)

本組各員凱旋人戰歴概(三十三)

本組各員凱旋人戰歴概(三十四)

本組各員凱旋人戰歴概(三十五)

本組各員凱旋人戰歴概(三十六)

本組各員凱旋人戰歴概(三十七)

本組各員凱旋人戰歴概(三十八)

本組各員凱旋人戰歴概(三十九)

本組各員凱旋人戰歴概(四十)

本組各員凱旋人戰歴概(四十一)

本組各員凱旋人戰歴概(四十二)

本組各員凱旋人戰歴概(四十三)

本組各員凱旋人戰歴概(四十四)

本組各員凱旋人戰歴概(四十五)

本組各員凱旋人戰歴概(四十六)

本組各員凱旋人戰歴概(四十七)

本組各員凱旋人戰歴概(四十八)

本組各員凱旋人戰歴概(四十九)

本組各員凱旋人戰歴概(五十)

十六日、沙河會戰、三十八年一月十八日、

七日、三月十一日、奉天會戰、三十九年、

二月十九日、字品隨着、同二十四日除隊、

明治三十七年二月七日、三月十八日、

品出帆、七月三十一日、檢梅林子附近、

開、八月一日、三子、本溪湖、行刑屯附、

近戰、十月八日、十三日、本溪湖及大、

峯附近戰、十月二十七日、至順山戰、三十、

八年二月二十六日、奉天會戰、三月一日、

より、前松木堡子戰、同十二日、新寧子戰、

十三日、范家屯戰、十五日、八里庄戰、十、

六日、鐵嶺戰、十一月二十三日、東京歸着、同、

二十八日除隊、

品隨着、三十七日除隊、

明治三十七年二月七日、三月十三日、

品出帆、五月一日、鴨綠江戰、同二十一日、

尹家堡子戰、六月八日、油離攻、二十六、

日、編岑攻、二十七日、分水嶺攻、七月、

月三十一日、イアン、ス、戦、八月二十、

五日、イアン、ス、戦、二十六日、大西溝戰、

三十一日、孟家房戰、十月十三日、上馬屯、

戰、十四日、馬關子山戰、三十八年二月、

二十四日、後家放北方高地戰、三月一日、終、

家放北方其他附近戰、同三日、唐屯戰、

同九日、イアン、ス、戦、十日、形家樓西方高、

地戰、十一日、達達子戰、十一月三十、

九日、字品隨着、十二月十二日除隊、

明治三十七年三月六日、四月二十四日、

字品出帆、五月十五日、不家屯、十六日、朝家、

店戰、同二十五日、金州南山戰、七月二、

十六日、八日、双臺溝、三十日、土城子戰、八、

月十九日、水師營南端戰、九月二、

日、字品隨着、三十八年二月二十七日、横濱出、

帆、三月十二日、三月二十三日、字品隨、

着、三十九年三月一日除隊、

徳田多助製

何世知氏

名品御用

衛生打粉

京東 角リ通橋盤 製助多田徳

汗性の人眼前に奇効 顯る涼風に吹る、如し行水及び浴後に衛生的の必需品

○効能確實芳香三ヶ年間保つ請合

○品位優等年々顧客の信用を増す

包形ら同じの偽物澤山有(せ)せ知ら(せ)の五文字と徳田多助に御注意を乞ふ

店賣卸 縣各阪夫京東 屋問卸品粧化

東洋電機利大勉強

煙管 **パイプ**

黄金製 赤銅製 白銀製 洋白製 真鍮製 銅鉄製 二上製 懐中用 其他各種

東洋電機利大勉強

陸軍御用

力ンフル后

消毒大王

此錠は石鹼ハ機械練ト異リ
混合粉ナリ純良品ニシテ
混合粉ナリ純良品ニシテ
混合粉ナリ純良品ニシテ
混合粉ナリ純良品ニシテ

代理店
東京馬場町一丁目
浅井支店
大阪入道寺町三
秋原支店
同 道修町三
川下福松

俳句 選

對世庵更鄰宗匠

五月の雨は五月晴 水鏡 松本
五月の雨は五月晴 水鏡 松本
五月の雨は五月晴 水鏡 松本
五月の雨は五月晴 水鏡 松本

五月の雨は五月晴 水鏡 松本
五月の雨は五月晴 水鏡 松本
五月の雨は五月晴 水鏡 松本
五月の雨は五月晴 水鏡 松本

京の地をなれて水鏡開夜かな

蝶も飛鳥も啼野や五月晴 九林 破笠
口嗽く水の冷たし若の花 加藤 陽生
夜の明てきのの空や五月雨 加藤 陽生

五月の雨は五月晴 水鏡 松本
五月の雨は五月晴 水鏡 松本
五月の雨は五月晴 水鏡 松本
五月の雨は五月晴 水鏡 松本

清心丹

製造本舗 大坂元町 篠原商店

關西特約店 二丁目 泉商店
關東特約店 三丁目 萩原本店
關東特約店 三丁目 田中花王堂
關東特約店 三丁目 脇田盛實堂

新式折込歯ブラシ

● 本品特色
● 差替自在
● サツクハ最上等

關東特約店 三丁目 脇田盛實堂
關東特約店 三丁目 田中花王堂
關東特約店 三丁目 萩原本店
關西特約店 二丁目 泉商店

目録

● 目録
● 目録
● 目録
● 目録

特約店 (5は順)

日本橋區馬場町三丁目 五郎
日本橋區馬場町三丁目 五郎
日本橋區馬場町三丁目 五郎
日本橋區馬場町三丁目 五郎

カイ

製造本舗 理想堂兄弟商會
發賣元 三河屋善兵衛

宅間支店

宅間長兵衛

浪華青樓志序前 風來山人

高秋住の江の松の相生のやうにいひか
し。男山の世を思ひて。長かしの一時を
ねるも。歌を聴せてまきはしけり。春の
あしたの正月のかた。秋の夕のぼんのか
た。桃宮浦菊のかた。年ごとにすはき
餅つき。ことはじめを買い。朝ごみの歸り
に雪のつるを見。我愛の白きをなげ
き。吉野川をひきて呼び立を恨みけり。今
は富士屋の跡も絶え。越前も朽るまじと
し。へそをみなげさける。いにしへより
斯くつたはれる中にも。山本與次兵衛の比
下り身前ひろまりける。彼世や傾城員のや
うするしりけん。また藤屋伊左衛門は助
六が上になんこし難。助六は伊左衛門
が下になんこたたくんありける。此人
人を置て又もすれたる人も。淀川の瀬
に聞え。わん久が物狂はしきのぼり客も
へすにありける。こい古へのわけしり客
わづかに三人四人ありけり。是れ得たる
跡も所たがひになん。年は五十餘り六十
にたりぬ。その名聞へたる君はすまはし
ふじやあづきは大夫のさすは得たれども
後とすきたり。たとへば袖にかけ花
の。後らふかたなきが如し。屋宇屋夕霧は
其心やさしく言葉たらす。しほの目に色を
合ふ。匂ひ残れるとめ加。の如し。丹波や
津南は言葉するといふそのま身にふはす。
いはしめ人の女房のよき衣着たらんが如
し。吉野や總角はそのすがたにさうし
し。始をはりあけ。いはは二月の宵の
雲にあらが如し。九や小富士は越中にさ
もいたり。あはれも知れぬも妙なり。物狂
はしき所あり。いはあおむがへしと眠む
べきまなり。丹波屋松山はそのまふつ

無題

いかなり。いは新にまじる山松の花さ
多きが如し。この外その名聞ゆる君。野邊
に生る夕がほのほびて。宇治にむれる
響の如くにけり。かゝるに今四すじ
町の氣色あまねき。邸の外までかくれな
く。筑波山のおもより驚く通ひ。萬の
里の上になんこ。いにしへの事を思
れ。ふりしことを興し。今も見をな
し。後の世にも傳はれとて。寶曆七年丑の六
月。大つくし氣の浮客。すい所の預り氣の
招れ客の揚語買の總客。あまざるさの爲
成り客。衣紋つくるふ美男客等。寄り集り
未來肥に入らぬ花街の故實。自らのおもは
くを立。開傳へし事もまじへ。この地
開けて傘をさしかさすよりはじめて。後の
代まかからぬことをまかせ。すも常
盤に此所に居て。子孫を見るにいたるま
で。又感表につても。客のことを思ひ。此
書をなす昔し格をこひ。紫花の時至ら
ん上代の風を祈り。あるは今用なること
まで。名付けて浪花青樓誌といふ。かく此
たびあらむしも。山下水の流れゆるる。
濱の真砂の数かぎりなき日敷。今は飛鳥川
の。側になり。女郎屋茶屋のけ屋のまの昔。
借住の家持となる。夫奮記は春の花匂ひす
くなくして。空しき名のみ秋の夜の長きを
かてれば。且は人の耳をおそり。且は我
が心にも思へど。又いさし川いさ
ひかじになさまはし。又いさし川いさ
かの違ひは。此地に久しし通ひて。此事に
ふはしき人の。あらため玉へる時にあへる
をなんよとめぬ。彼山中入道世になく
なりて。身請のこ止まりぬるかたとな
ひ。時移りて去ると。傾城の文字ある
ぞや。身請客の跡たへす。松の位のち失
すして。正木のかつら長くつたはり。客の
さまも置り。あはれも知れぬも妙なり。物狂
はしき所あり。いはあおむがへしと眠む
べきまなり。丹波屋松山はそのまふつ

第五回博覽會賞牌受領
東洋白米
品質優良兩全の佳品なり
大茶好し丸粉
定價一袋小八厘
東京市通靈町
大和屋小兵衛

新築落成御披露
旅館 水上 由兵衛
電話浪花千七百九十八番

專賣 英字留紀念品 人定數賣切申候

佛國エムモ一會社製造
ムスク白粉 東京橋町 竹間商店
●●●府香歐印御注意●●●
本品ハ内務省衛生試驗所ニ於テ證明セラル、無鉛毒ノ西洋白粉ニシテ高尚ナル廉
香ナリ、すなはチ香水ノ香ヲ有シ、體極メテ麗ハシキ各位ノ御高評ヲ辱ス

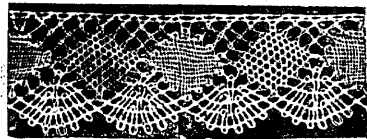
東京神田区河原町三丁目
電話花六〇一

此洗粉ハ佛國醫學博士カ多年研究ノ結果日本人ノ皮膚ニ適スル様方
劑セラレ、最新發明品ナリ、乞フ實驗アレ
輸入元 東京神田区河原町三丁目 トイレット和佛商會
東京日本橋區馬喰町三丁目
特約大販賣所 田中花王堂



類種 入瓶 入袋

御髪のかせみをし一名美男柱
東京市京橋區銀座三丁目
かつら松澤商店
賣捌は各小間物店賣藥店にあり



舶來雜貨 直輸入 東京日本橋區電話本局(九八六番) 谷商店

舶來 裝飾用レース (白無地 包模糊)

製造本舖 柳屋五郎三郎
●近來類似品多く候間、品屋號に御注意御求めを乞



●柳清香油は弊店獨特の製造にして高
貴なる麝香を多量に配合しあるに依り芳
香の永く保つと品質の優等佳良なる事已
に世の定評あり
●瓊姿香油は貴婦人用の香油にして時
世の推移に基き歐米に於て専ら流行せる
最新の香料を加へ精製したるものなれば
専ら結髪束髮用に適し第一毛髮の發育を
助け常に洗髮の如くサラサラとして好き
艶を出し高麗なる芳香は檀香として永く
保ち恰かも香水の代用をなすの特長あり
東京市日本橋區通三丁目

スミレ香油
賣本 賣本 賣本
大和屋 小和屋 兵衛町
東京市通塩町

歐米風 寫生造花製造
元祖 萬屋田中第一工場
東京神田區三好町一番地
本所區外手町
大至急小僧入用 十一才ヨリ
十六才マデ

此のフラワー
ピンは金屬製
(足はゴムな
り)にして何
回捲き解きす
るも破損の憂
ひなし

專賣特許
フラワーピンの圖

報商品粧化材間小京東

No. 379 (Tri-monthly)

(The Tokyo Toilet Trade Journal)

Saturday July 11th 1908.

英國の軍艦が中將率ゐる隊はノールエル將軍に率ゐられ、今復來朝したるは同盟國交親の表徴として吾人の歡喜に堪へざる所我邦上下の之を歡迎待惟れ日も足らざるものあるは固より其處にして滿腔の誠意と敬意とを以て之に對せざるべからず惟ふに我邦と英國と東亞に於ける攻守同盟の約成りて通商貿易の上に國際問題の上に於て帝國が恒に燃々たる東洋の治安を保持するに最も必要なる基礎確立せられ上下心を安じて其の志す所を敢行するに些の躊躇を須ひざるに至りしを思へば兩國の關係は一心異體のものたらざるべからずこの親交ある者に對し歡喜歓迎の意を表して

(寄寄影出引館水玉 場印樂) 會賀祝迎歡合組本



(寄寄影出引館水玉 場印樂) 會賀祝迎歡合組本

白粉は傳けるべからず白粉は身に着けるべからず白粉は心身を清潔にし女學生の風紀を敗るの虞ありなどとの議論は皮相の見極め村夫子數言の御説に過ぎず反りて白粉の活社會に必要にして而して恐るべきものにあらざるを有力に證據立てる機会を與ふる者となれり一時盛なりし議論いつか消え失せたるも理の當然心を挑發すといふ程助言をして美觀に打たしむる確證にして白粉の爲めに不具となり疾となりたりといふ普通婦人なきにより決して恐るべき者ならざるを明らかにしたり彼等の動もすれば白粉を云々するは其美に打たれ心抑へ難きより何とか屁理を付けんとの魂膽を問はずして明らかなる問題

料原ルナト人美

ルナク 白色

アイロ

化粧水

鋪本粉白王花
町山横京東
堂眞盛田脇

白ゆり白粉は内務省衛生試験所の試験に於て舶來品共四十四種の内第一位に表明せられ

特約店

- 大和屋 脇田 柳下
- 丸見屋 田中 安藤
- 佐々木 小林 廣田
- 近江屋 平尾 田

洗顔を白くする **セーネー**

色白くなる

東京日本橋本町一丁目

第五回博覽會賞牌受領

御園白粉

特別廣告

完全無鉛白粉

御園白粉

水製御園の露
粉製御園の月
高貴化粧水の露
御園のつばき
打御園のつばき
濃厚化粧水として
四季の花

專賣美術罐入發賣

美術罐入

專賣特許

堂尚井藤安

名

(電話浪花 一匹七三番)

定價

壹年前金 壹圓

料

行數回數割引なし

印刷水武廣 和雄 發行所

東京小橋町商組合事務所

消毒化粧兼用

レクシ石鹼



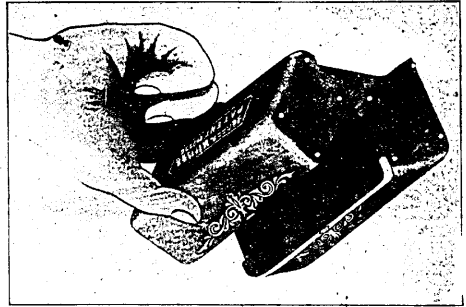
本品は殺菌力石炭酸よりも強く傳染病豫防其他消毒用として効力絶大なるクレシンを配合すクレシンは丹波藥學博士の發明にして東京顯微鏡院長遠山醫學博士の試験成績によれば幾多の消毒藥中効力之に優るものなしと確證せしる本品は最上の化粧石鹼に此の消毒劑を適當に配合せるものなれば殺菌消毒の効あると共に又化粧用に適せり

全く皮膚を刺劇せず小兒婦人の御使用に適し保存するも品質變更せず是來の消毒用石鹼に比して大に進歩せる製品なる事を證すべし

本品は圓形罐入りなり ●定價一個七錢

東京神田柳原川岸
發賣元 ライオン齒磨 舖 小林富次郎

パテント石鹼入



(號六二二九許特賣專)

本石鹼入ハ構造堅牢ニシテ新機軸ヲ出シ體裁高尚ニシテ使用極メテ輕便ナル新製專賣品也

聯合發賣

| | | | | | | | | |
|--------|-------|-------|--------|------|------|-------|-------|-------|
| 桶町四 | 桶町四 | 通油町 | 通油町 | 馬喰町二 | 馬喰町三 | 桶町四 | 桶町四 | 横山町一 |
| 丸見屋善兵衛 | 山田篤三 | 柳下藤五郎 | 大和屋小兵衛 | 長瀬富郎 | 武井龍三 | 田中定七 | 田中花王堂 | 脇田盛眞堂 |
| 濱町一 | 横山町二 | 通油町 | 銀座一 | 馬喰町二 | 桶町三 | 横山町二 | 柳原川岸 | 神田橋本町 |
| 清水開花堂 | 清水開花堂 | 君ヶ代清水 | 佐々木支兵衛 | 淺井支店 | 淺井支店 | 天野磯五郎 | 小林富次郎 | 松井號支店 |
| 尾分 | 尾分 | 尾分 | 尾分 | 尾分 | 尾分 | 尾分 | 尾分 | 尾分 |

カメリア粉



カメリアは時代の要求により生れたる最新最良の洗粉なり、香氣爽快にして色を白くし皮膚を艶麗ならしむ

定價 瓶入十二錢
袋入五錢
小袋三錢

ライオン齒磨發賣元 聯合發賣元(さるは順)

本舖 小林富次郎

横山町二丁目 脇田盛眞堂 通油町 柳下藤五郎
馬喰町 田中花王堂 銀座 佐々木玄兵衛
通油町 大和屋小兵衛



麝香后鹼

神戸鳴行社
持電一五二
代理店 小林三才店



東京牛込
山本川堂

スワン石鹼

純白なる浮石鹼にして泡立ちよく頗る經濟的な家庭用石鹼なり高雅なる香氣を有し肌を艶麗ならしむ

特約店
ライオン 小林富次郎
大和屋 柳下藤五郎
馬喰町 田中花王堂
花王堂

店理代本口 會商一サ一ロメー 認標

元改裝 一ニパレ 會商 市トイランサトルが商交

組合録事

○六月三十日 組合新加盟者

住所 下谷院街三丁目八番地
商號 島屋
氏名 山本清兵衛君

右新加盟せられたるを以て組合員名簿へ登録す
○七月一日 午後五時より事務所にて臨時役員會を開く出席者

(いはは順)

- 堀内 藤吉君 田中吉兵衛君
- 武井 龍三君 長瀬 富郎君
- 山田 篤三君 柳下藤五郎君
- 小林富次郎君 安藤福太郎君
- 淺井 碩成君 佐野小兵衛君
- 三輪善兵衛君 水野 彌吉君
- 平尾 贊平君

以上十三名にして議決したる事項左の如し
本年十月より施行せらるべき關稅定率法
中香料に關する件

改正稅表を調査(別表参照)するに總體に於て原料と既成品とは其間多大の斟酌あるに拘はらず唯本邦に於て製造の石油及化粧品の主たる原料として使用する香料のみは從來の稅率に比し二倍若くは三倍の増率となりたるは假使財政整理の必要上已むを得ずとするも本品の如きは既成品の協定稅率との關係上當業者の不利は勿論國家經濟上失所亦尠なからざるを以て之が狀を具し其筋へ陳情のこととせり

○東京勸業博覽會出品に關する件

出品希望者の會合を催し其出品方法を決定すること
右の外商標侵害に關する件審議の答なりしを申請人より解決を告げたる旨申出ありたるを以て撤回し同十時散會す

○七月八日 組合員來る十一日午後一時より日本橋俱樂部に於て東京勸業博覽會出品に關し協議會開會の旨通知せり

○同日 昨十二月農商務省令を以て改正せられたる商標法施行細則第十五條第二類の白粉と第四類の白粉との區別より生ずる

疑義に就き長瀬富郎氏の提議に基き左の何書を特許局へ差出したる

御 伺

明治三十八年十二月農商務省令第三十一號を以て御改正相成候商標法施行細則第十五條第二類中の白粉は直におしりとして使用するを得るものなれば從來普通之を白粉と稱するを以て同條第四類中の白粉との區別に付商標登録出願上左の疑義を生じ組合員其適從に迷ひ居候間幸至急何分の御指示被成下度奉願上候也

第一類顏料としての白粉と第四類化粧品としての白粉との區別は單に其實質の白粉と白粉にあらざる白粉に依り區別し白粉の白粉は第二類に白粉のあらざる白粉は第四類に依り其登録を出願すべきや二前項にして然りとせば白粉と白粉以外のものを混合したる白粉は何類に據るべきや將又第二類と第四類に依り各別に一種の商品に同一の商標登録を出願すべきや三用途外見を同くする第二類白粉と第四類白粉の商標が同一又は類似の場合に於ては事實は根柢より其商標專用權を破壊せらるべき法律上其類を異にするを以て他人が之を使用するも毫も妨げなしとせば縱令何れか一方のみの商標專用權を得んとする場合に於ても尙且つ同一の商標を第二類及第四類の双方に登録を受け以て二重に登録料を納付するにあらざれば未だ以て安全なりと云ふこと能はざるが如く在られ候唯本品に限り如此は何故に御座候哉



明治三十九年七月八日
東京小間物化粧品卸商組合
頭取 淺井 碩成
特許局長 長田 一藏

關稅定率法輸入稅表關係品目新舊對照表(本組合調査)

| 品名 | 品目 | 品名 | 品目 | 品名 | 品目 | 品名 | 品目 |
|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|
| 八角桂皮 | 八七一 | 八角桂皮 | 八七一 | 八角桂皮 | 八七一 | 八角桂皮 | 八七一 |
| 八角桂皮 | 八七二 | 八角桂皮 | 八七二 | 八角桂皮 | 八七二 | 八角桂皮 | 八七二 |
| 八角桂皮 | 八七三 | 八角桂皮 | 八七三 | 八角桂皮 | 八七三 | 八角桂皮 | 八七三 |
| 八角桂皮 | 八七四 | 八角桂皮 | 八七四 | 八角桂皮 | 八七四 | 八角桂皮 | 八七四 |
| 八角桂皮 | 八七五 | 八角桂皮 | 八七五 | 八角桂皮 | 八七五 | 八角桂皮 | 八七五 |
| 八角桂皮 | 八七六 | 八角桂皮 | 八七六 | 八角桂皮 | 八七六 | 八角桂皮 | 八七六 |
| 八角桂皮 | 八七七 | 八角桂皮 | 八七七 | 八角桂皮 | 八七七 | 八角桂皮 | 八七七 |
| 八角桂皮 | 八七八 | 八角桂皮 | 八七八 | 八角桂皮 | 八七八 | 八角桂皮 | 八七八 |
| 八角桂皮 | 八七九 | 八角桂皮 | 八七九 | 八角桂皮 | 八七九 | 八角桂皮 | 八七九 |
| 八角桂皮 | 八八〇 | 八角桂皮 | 八八〇 | 八角桂皮 | 八八〇 | 八角桂皮 | 八八〇 |
| 八角桂皮 | 八八一 | 八角桂皮 | 八八一 | 八角桂皮 | 八八一 | 八角桂皮 | 八八一 |
| 八角桂皮 | 八八二 | 八角桂皮 | 八八二 | 八角桂皮 | 八八二 | 八角桂皮 | 八八二 |
| 八角桂皮 | 八八三 | 八角桂皮 | 八八三 | 八角桂皮 | 八八三 | 八角桂皮 | 八八三 |
| 八角桂皮 | 八八四 | 八角桂皮 | 八八四 | 八角桂皮 | 八八四 | 八角桂皮 | 八八四 |
| 八角桂皮 | 八八五 | 八角桂皮 | 八八五 | 八角桂皮 | 八八五 | 八角桂皮 | 八八五 |
| 八角桂皮 | 八八六 | 八角桂皮 | 八八六 | 八角桂皮 | 八八六 | 八角桂皮 | 八八六 |
| 八角桂皮 | 八八七 | 八角桂皮 | 八八七 | 八角桂皮 | 八八七 | 八角桂皮 | 八八七 |
| 八角桂皮 | 八八八 | 八角桂皮 | 八八八 | 八角桂皮 | 八八八 | 八角桂皮 | 八八八 |
| 八角桂皮 | 八八九 | 八角桂皮 | 八八九 | 八角桂皮 | 八八九 | 八角桂皮 | 八八九 |
| 八角桂皮 | 八九〇 | 八角桂皮 | 八九〇 | 八角桂皮 | 八九〇 | 八角桂皮 | 八九〇 |
| 八角桂皮 | 八九一 | 八角桂皮 | 八九一 | 八角桂皮 | 八九一 | 八角桂皮 | 八九一 |
| 八角桂皮 | 八九二 | 八角桂皮 | 八九二 | 八角桂皮 | 八九二 | 八角桂皮 | 八九二 |
| 八角桂皮 | 八九三 | 八角桂皮 | 八九三 | 八角桂皮 | 八九三 | 八角桂皮 | 八九三 |
| 八角桂皮 | 八九四 | 八角桂皮 | 八九四 | 八角桂皮 | 八九四 | 八角桂皮 | 八九四 |
| 八角桂皮 | 八九五 | 八角桂皮 | 八九五 | 八角桂皮 | 八九五 | 八角桂皮 | 八九五 |
| 八角桂皮 | 八九六 | 八角桂皮 | 八九六 | 八角桂皮 | 八九六 | 八角桂皮 | 八九六 |
| 八角桂皮 | 八九七 | 八角桂皮 | 八九七 | 八角桂皮 | 八九七 | 八角桂皮 | 八九七 |
| 八角桂皮 | 八九八 | 八角桂皮 | 八九八 | 八角桂皮 | 八九八 | 八角桂皮 | 八九八 |
| 八角桂皮 | 八九九 | 八角桂皮 | 八九九 | 八角桂皮 | 八九九 | 八角桂皮 | 八九九 |
| 八角桂皮 | 九〇〇 | 八角桂皮 | 九〇〇 | 八角桂皮 | 九〇〇 | 八角桂皮 | 九〇〇 |

石炭(常備) 九〇一
石炭(非常備) 九〇二
石炭(非常備) 九〇三
石炭(非常備) 九〇四
石炭(非常備) 九〇五
石炭(非常備) 九〇六
石炭(非常備) 九〇七
石炭(非常備) 九〇八
石炭(非常備) 九〇九
石炭(非常備) 九一〇
石炭(非常備) 九一一
石炭(非常備) 九一二
石炭(非常備) 九一三
石炭(非常備) 九一四
石炭(非常備) 九一五
石炭(非常備) 九一六
石炭(非常備) 九一七
石炭(非常備) 九一八
石炭(非常備) 九一九
石炭(非常備) 九二〇
石炭(非常備) 九二一
石炭(非常備) 九二二
石炭(非常備) 九二三
石炭(非常備) 九二四
石炭(非常備) 九二五
石炭(非常備) 九二六
石炭(非常備) 九二七
石炭(非常備) 九二八
石炭(非常備) 九二九
石炭(非常備) 九三〇
石炭(非常備) 九三一
石炭(非常備) 九三二
石炭(非常備) 九三三
石炭(非常備) 九三四
石炭(非常備) 九三五
石炭(非常備) 九三六
石炭(非常備) 九三七
石炭(非常備) 九三八
石炭(非常備) 九三九
石炭(非常備) 九四〇
石炭(非常備) 九四一
石炭(非常備) 九四二
石炭(非常備) 九四三
石炭(非常備) 九四四
石炭(非常備) 九四五
石炭(非常備) 九四六
石炭(非常備) 九四七
石炭(非常備) 九四八
石炭(非常備) 九四九
石炭(非常備) 九五〇
石炭(非常備) 九五二
石炭(非常備) 九五三
石炭(非常備) 九五四
石炭(非常備) 九五五
石炭(非常備) 九五六
石炭(非常備) 九五七
石炭(非常備) 九五八
石炭(非常備) 九五九
石炭(非常備) 九六〇
石炭(非常備) 九六一
石炭(非常備) 九六二
石炭(非常備) 九六三
石炭(非常備) 九六四
石炭(非常備) 九六五
石炭(非常備) 九六六
石炭(非常備) 九六七
石炭(非常備) 九六八
石炭(非常備) 九六九
石炭(非常備) 九七〇
石炭(非常備) 九七一
石炭(非常備) 九七二
石炭(非常備) 九七三
石炭(非常備) 九七四
石炭(非常備) 九七五
石炭(非常備) 九七六
石炭(非常備) 九七七
石炭(非常備) 九七八
石炭(非常備) 九七九
石炭(非常備) 九八〇
石炭(非常備) 九八一
石炭(非常備) 九八二
石炭(非常備) 九八三
石炭(非常備) 九八四
石炭(非常備) 九八五
石炭(非常備) 九八六
石炭(非常備) 九八七
石炭(非常備) 九八八
石炭(非常備) 九八九
石炭(非常備) 九九〇
石炭(非常備) 九九一
石炭(非常備) 九九二
石炭(非常備) 九九三
石炭(非常備) 九九四
石炭(非常備) 九九五
石炭(非常備) 九九六
石炭(非常備) 九九七
石炭(非常備) 九九八
石炭(非常備) 九九九
石炭(非常備) 一〇〇〇

●特許品陳列會と本組合役員
 農工商各務特許局の主任により特許品の買値を發給する爲め五二共進會を構として同品の合同出品をなすことを決議しその取扱を工業所有權保護協會に一任し各地の委員を選定する事は會長の指名陳列會のことに決定したが今回東京に四名の委員を置くこととなりその二名は淺井頭取、小林理事に囑託せられたり

●三輪理事の満洲渡航
 先頭來歸朝中なりし本組合理事三輪善兵衛氏は本月中旬また、滿洲に航し福榮洋行の事務を視て更に中央支那なる漢口より上海等の商況視察を遂げらる、由吾人は同氏の益々滿洲に發展して日清貿易革新の一端を聞かざるの勢に對し感謝敬虔の念に堪へざるものなり

●三輪氏と丸善商店
 前項所報の如く三輪理事は滿洲視察ともは爾後シーチング染布の販賣擴張に盡瘁せられ對清貿易の一大發展を期する由にて之れが爲め同氏の丸善商店は同氏直接に執掌するの機多からざるを以て義弟初太郎氏と營業主任となし同氏は之れが監督に任じ益々その業務を擴張して滿洲に於ける福榮洋行の發展と相俟ひ行くべしといふ

●特許石輸入の發賣
 今回新製せられたる專賣特許石輸入は本組合聯合を以て發賣せられたり同者は從來石輸入とはその構造機關を異にし攜帶の便使用の宜を完備し堅永く使用に堪へしとして水切れよきとして從來の缺點を補ひ完全なる石輸入たりその特許ある所以は全く機關と構造にして蓋は中央より開かれ鑄造の形によりて大牙相輪は閉閉自在となりその開きたる蓋が底部に適合して蓋と

なるより極底なりの水に浸さるゝも石輸入に浸潤する憂なく其に石輸入の機能完備したるものなりといへばその好評を博して社會に歡迎せらるゝと期待して待つべきなり吾人は石輸入の不備を憂ひしものなるが此の如きの發明品を見るに至らるは業界の爲めに祝して已まざる所なり

●實業家子弟歡迎會
 例年一月及び七月十六日には數入の商家子弟をして高尙清新の思想を涵養せしめんとする主意にて神田區美土代町なる東京青年會に於て實業家子弟歡迎會を催し來りしが本年も来る十六日午後一時より商家の數入子弟の爲めに歡迎會を開き米國人ヒバート氏は日本語にて外國商人の立身談を、江原六氏は修身訓話を、藏谷小波氏は加藤のいづれも興味深く通俗的に演説せられ其の音聲活潑人畫隨聲百面相等種々の有益なる餘興を加へ茶菓をも設する由なるが右に數入子弟は何人も隨意に歡迎せらるゝものにてかの小使鏡のあるに任せて到る所に立食をなし又は眞狼なる處に出入するもの道を清新なる面龐に歸せしむるに好適の會合にて毎回好評の噴々たるは尤ものことといへし吾人は商家の子弟さては店主に對し此の會に對して出來得る限り歡迎を受けしむべきことを勧告するものなり

●實業補習學校商議員
 東京市の施設に於ける實業補習學校商議員規程に據り東京市長の指名陳列による商議員は社會の各方面に渉るの必要よりその人選に苦心したる結果別項の如く陳列せられたるが本組合理事三輪善兵衛氏も陳列せられたる商議員となれり

●東京勸業博覽會協賛會常議員
 東京勸業博覽會協賛會常議員の選定に就ては其筋に於ても苦心したるが別項の如く陳列せられたるが本組合員にして陳列を受けたるもの三輪善兵衛氏外數氏ありたり

三多印白粉
 ラグナ印白粉の大特色のひがよかつやをなしきめをこまかにするがにはひはたかきおのやま

東京勸業協會第一回製成品評會に於て發賣受領

製造元 津根東京 堂時金田坂

新新根掛現出
和合の糸
 東京小問物商問屋聯合發賣

製堂由自

鹿齒磨粉



鹿印煉齒磨は已れ世の定評あり今般新に粉製も發賣せり幸に御試用の上煉製同様の御好評を希ふ

鹿齒磨粉

- 如何なる芳香を有する乎
- 如何に口中を清淨爽快ならしむる乎
- 如何なる程度まで齒牙の保全に注意したる乎
- 如何に嶄新なる原料を用ひたる乎
- 何故に他の齒磨より高價なる乎
- 一度御試用の榮を蒙らば遂に發言を要せざるなり

東京馬喰二丁目電話浪花三番

花王石鹼本舗 長瀬富郎

賣捌所は各地有名和洋小問物店及藥店にあり

- 賣販約特内市 (順はるい)**
- 馬喰町三丁目 幸商店
 - 馬喰町二丁目 伊勢商店
 - 馬喰町一丁目 盛眞堂
 - 馬喰町 田中花王堂
 - 馬喰町 玉置勉強堂
 - 通り 柳屋商店
 - 通り 大和屋商店
 - 通り 柳屋商店
 - 橋本 丸見屋商店
 - 橋本 福井商店
 - 銀座 佐々木商店
 - 銀座 近源商店
 - 馬喰町 平尾商店
 - 馬喰町 森本支店

旅行宴會芝居

紙白粉 つるののはね

は懷中に便にして殊に

ラム后輪

の必節 用時節

其他人込の中に化粧すること自由なり

○手帳形 大廿三錢 小十七錢

○東京通運町 大和屋

川白菊王堂

新用安全荷札

●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便

東京三井物産株式會社

東京星野の人造麝香

●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便

東京星野製香株式會社

登錄商標御注意を乞

●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便

東京星野製香株式會社

天下一品 白粉の大王

●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便

東京星野製香株式會社

支店

東京市神田區 商號松井號
電話 東三四七三

東京市神田區 商號松井號
電話 東三四七三

東京市神田區 商號松井號
電話 東三四七三

東京市補習夜學校

●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便

東京市立東京商業補習夜學校規程

●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便

同商議員

會長 杉村 甚兵衛
西澤 善七 市原 求
高木 益太郎 南川 福藏
野本 傳七 大橋 新太郎
三輪 善兵衛

東京商業補習學校主事書

●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便

新着荷廣告

●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便

模倣製口影敷付御注意

●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便

田中花王堂

●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便

東京市立東京商業補習夜學校

●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便

石 鱈

●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便

パンドリ

●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便

香 刺

●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便

壺

●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便

本品は畏くも

●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便

高木六太郎

●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便

高木六太郎

●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便

高木六太郎

●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便
●紙質堅牢 體裁優美 價格低廉なる 實益と便



關東代理店
神田區橋本町二丁目
松井號支店
電話浪花三千五百二十番

王霸之磨齒的步進

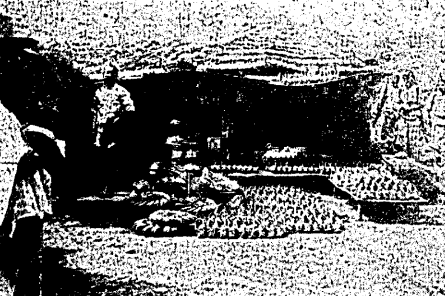
磨齒

目下五福麗商園香芳野矢 市阪大師本

兔月石餘

遊韓雜話(つづき)

△日本の釜山。釜山は開けて居るが、居留地は日本の專管居留地であつて、殆んど内地と違はぬやうな氣がして、すべてが日本式に見えて、韓國の釜山であるか、日本の釜山であるか見分けられぬ程である、併し去つて韓人町に入ると、依然△韓國の釜山である、町の穢ないこと、建物の矮小なこと、すべてが韓國的ともいふべきである、これを見ると、成程釜山は韓國だワイと合點が行くのである、△人よりも臭い家屋釜山の韓人町へ福築商會(三輪氏の經營にかゝる日韓貿易機關)の橋本さんに案内されて、商店なるもの、景況を見に行つた處が、驚いたのは草鞋屋、こゝに掲げた韓人の通りに靴先から店頭地下へズラリと並べてあるのはよいが、その家といつたら、いかに汚穢は勿論、一體に大きい體格の韓人が、長い煙管を持つて立つて居ると、家根よりも高い、家の方が人間よりも低い、出入は立つては出来ぬ、案内記や何かでさうとは聞いて居たもの、まさかと思つたが、そのく、の誤り、聞いてたよりも甚しいのは、何人も二度吃驚であらう、△小さな煙突、煙突といふと、まづ煙前の電燈會社の大煙突などは、東京の人の直



(附著原頭井談) 店鞋草の國韓

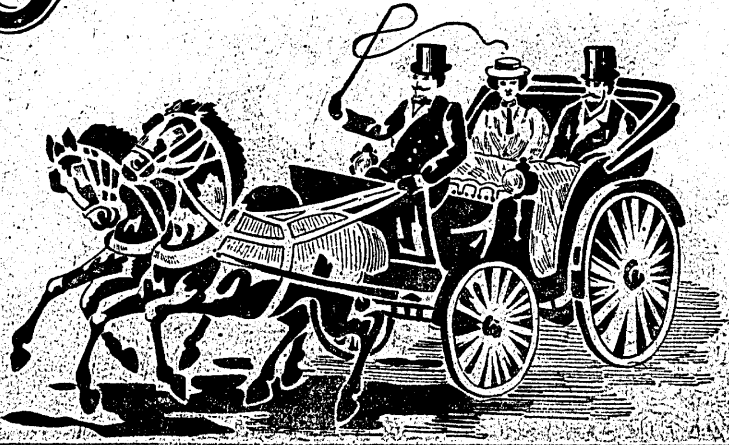
ちと思ひ浮ぶ處だが、まづ韓人の住居には必ず煙突がある、その煙突は低い、くもの、家の側面にチヨント立つて居る、煙突といふから大勢變なもので、實は土管の短かいものが突立つて居るといふ方がよい、これはオンドルの煙出しで、煙突には違はないが、考へればなかく工夫したものである、何故ならば、廢物利用といふべきかはた何といふべきか、炊事などに用いた火の煙で、家屋の床を温めるといふ仕組みが、煙が床下を這つて行く、その熱を床の下から暖かにする、その煙がこの小さな煙突から出るので、日本の煙突といつたやうなものでないのは、感心なものである、△昔を今に見る。昔しのお處刑は、芝居で見ると、芝居では、刑場の周圍には、老幼男女が集つて來ると、官吏はその罪狀を説明して、こゝで公衆に見せて執行する、その絞殺臺など、いつたら、殆んど玩具のやうで、木料を交又した上、一本の木を横に懸け渡し、それへ綱を引つかけて、罪人の首を縛つて、その綱を引くのである、引かれて咽喉が締まるから息が絶える、それを親戚などあるものは引取に來る、△話よりも甚しい。人は話半分、嘘半分の話、韓國の談話にはそれと全く反して、話よりも、話よりも、話の方が餘程軽いので、話では實際の半分もいへない、嘘を入れても嘘の方が餘程奇麗になつて了る位である、(二井井談) 韓國の通りに靴先から店頭地下へズラリと並べてあるのはよいが、その家といつたら、いかに汚穢は勿論、一體に大きい體格の韓人が、長い煙管を持つて立つて居ると、家根よりも高い、家の方が人間よりも低い、出入は立つては出来ぬ、案内記や何かでさうとは聞いて居たもの、まさかと思つたが、そのく、の誤り、聞いてたよりも甚しいのは、何人も二度吃驚であらう、△小さな煙突、煙突といふと、まづ煙前の電燈會社の大煙突などは、東京の人の直

ちと思ひ浮ぶ處だが、まづ韓人の住居には必ず煙突がある、その煙突は低い、くもの、家の側面にチヨント立つて居る、煙突といふから大勢變なもので、實は土管の短かいものが突立つて居るといふ方がよい、これはオンドルの煙出しで、煙突には違はないが、考へればなかく工夫したものである、何故ならば、廢物利用といふべきかはた何といふべきか、炊事などに用いた火の煙で、家屋の床を温めるといふ仕組みが、煙が床下を這つて行く、その熱を床の下から暖かにする、その煙がこの小さな煙突から出るので、日本の煙突といつたやうなものでないのは、感心なものである、△昔を今に見る。昔しのお處刑は、芝居で見ると、芝居では、刑場の周圍には、老幼男女が集つて來ると、官吏はその罪狀を説明して、こゝで公衆に見せて執行する、その絞殺臺など、いつたら、殆んど玩具のやうで、木料を交又した上、一本の木を横に懸け渡し、それへ綱を引つかけて、罪人の首を縛つて、その綱を引くのである、引かれて咽喉が締まるから息が絶える、それを親戚などあるものは引取に來る、△話よりも甚しい。人は話半分、嘘半分の話、韓國の談話にはそれと全く反して、話よりも、話よりも、話の方が餘程軽いので、話では實際の半分もいへない、嘘を入れても嘘の方が餘程奇麗になつて了る位である、(二井井談) 韓國の通りに靴先から店頭地下へズラリと並べてあるのはよいが、その家といつたら、いかに汚穢は勿論、一體に大きい體格の韓人が、長い煙管を持つて立つて居ると、家根よりも高い、家の方が人間よりも低い、出入は立つては出来ぬ、案内記や何かでさうとは聞いて居たもの、まさかと思つたが、そのく、の誤り、聞いてたよりも甚しいのは、何人も二度吃驚であらう、△小さな煙突、煙突といふと、まづ煙前の電燈會社の大煙突などは、東京の人の直

ちと思ひ浮ぶ處だが、まづ韓人の住居には必ず煙突がある、その煙突は低い、くもの、家の側面にチヨント立つて居る、煙突といふから大勢變なもので、實は土管の短かいものが突立つて居るといふ方がよい、これはオンドルの煙出しで、煙突には違はないが、考へればなかく工夫したものである、何故ならば、廢物利用といふべきかはた何といふべきか、炊事などに用いた火の煙で、家屋の床を温めるといふ仕組みが、煙が床下を這つて行く、その熱を床の下から暖かにする、その煙がこの小さな煙突から出るので、日本の煙突といつたやうなものでないのは、感心なものである、△昔を今に見る。昔しのお處刑は、芝居で見ると、芝居では、刑場の周圍には、老幼男女が集つて來ると、官吏はその罪狀を説明して、こゝで公衆に見せて執行する、その絞殺臺など、いつたら、殆んど玩具のやうで、木料を交又した上、一本の木を横に懸け渡し、それへ綱を引つかけて、罪人の首を縛つて、その綱を引くのである、引かれて咽喉が締まるから息が絶える、それを親戚などあるものは引取に來る、△話よりも甚しい。人は話半分、嘘半分の話、韓國の談話にはそれと全く反して、話よりも、話よりも、話の方が餘程軽いので、話では實際の半分もいへない、嘘を入れても嘘の方が餘程奇麗になつて了る位である、(二井井談) 韓國の通りに靴先から店頭地下へズラリと並べてあるのはよいが、その家といつたら、いかに汚穢は勿論、一體に大きい體格の韓人が、長い煙管を持つて立つて居ると、家根よりも高い、家の方が人間よりも低い、出入は立つては出来ぬ、案内記や何かでさうとは聞いて居たもの、まさかと思つたが、そのく、の誤り、聞いてたよりも甚しいのは、何人も二度吃驚であらう、△小さな煙突、煙突といふと、まづ煙前の電燈會社の大煙突などは、東京の人の直

輸入元
東京小間物化粧卸商組合
東京荒物化粧卸商組合
東京化粧品製造業組合

CREAM SOAP



クリーム石餘
故に日常之れを使用する
故に日常之れを使用する

成功の秘訣

幾千の學校にて青年を教育するに何の爲なるか。これ明かに人世を一層愉快なる者とし、社會及び個人の幸福を増さんとするに在るべく、この定義に照して異議を挿ひ置かざるべきを望む。小學校の教師などは異なる教育の定義を下す者もあれど、これは教育の終局的目的を以てして、中途の目的を以てして異なる。或は學校教育の目的は人格を養成するにありといふもあり。されど人格は如何なる者なるか、人格とは彫刻にても古書畫品にてもあらざるべく、少數の物好きの人々に愛顧せらるゝ爲に作るものにあらず、或は有益なる目的を有するならば、完全なる人格とは確固たる自信を有し、智識を以て力に養ふて何の要ありやといふと、以て自己の心身に善美なる者を取りて快樂幸福を得んとする爲めなるべし。故に如何なる定義ありとも教育の目的は此の點に歸着す。而して現今の學校の制度組織はこの目的を満足すに適へるか。予は之を否定するに躊躇せず、殆ど凡ての人の志す所は世上に成功せんとするにありて、成功せずしては人生は一の快樂をも與へざるが如し。人は成功の道に達せざれば失望を蒙るなり。然るに現在の學校教育はこれの大多數の人間の幸福と満足との唯一の源泉たる成功に適應を見る。教育制度は慾望を満足せんとする人間の希望と背して、却て青年をして容易に社會を厭はしむるやうに組織されたり。學校はさながら或は狡猾なる大人が已等の美味を有して、他にこれと争はざらんとして、豫め青年の食欲制限

の法を講じ、彼等が將來饑虎の如くなりたる時、其の慾を恣にするにせしめざらんとして自己に危険を及ぼすを察し、初めより彼等の爪牙を奪ひ、視力を鈍らんとする也。汝の刀劍は家に藏し、敵に傷けらるゝもこれに勝ゆべからず、敵に一步を譲りて好位置を與へよ。勝つよりも退く方が名譽なりと、教ふる兵法書の如き現今の教育方法なり。

人間の望める成功の意味を簡単に言あらばせば、多數の目に高き地位と見ゆる者を得て慾望を満足せしめんとすること也。而してこの目的は諸種の手段にて達するを得べく、多額の黄金を有すること、或は有する如く見せかけること、地位を有すること、或は權門と交を厚くすること、學者賢者君子と交を厚くすること、或はしか見せかけること、皆其一手段なり。人によりて好みを別にするを以て、高き地位に對する者は異なれど、物質的地位も精神的地位もこれを欲する心は一にて、何れを高くし何れを低しは云ふべからず。而して地位を得て如何にするか。醫者は多くの患者を得て多額の進代に有つて、作家は多數の愛讀者を得て多額の印税を收め、かねて希望せし成功の境涯に入りたる時は如何になすべきか、大抵の人は成功したる時は、先づ黄金佛の力をかりて、時人の所謂涙の谷なる人世にて得らるゝ限りの快樂を得んとす。或る成功家はシヤンパンを飲まんと思ふべく、他の成功家はシヤンパンを飲まんと思ふべく、中には貧民に慈善を施して樂まんとする變り者もあるべし。(未完)

玉磨 かがれば光なし美人たらんと欲せば
有名なる**美顔水**を用ゆべし

化粧用美顔水は理化學を應用し殊に方今歐米に於て實用する最新の材料を以て製せり故に從來の化粧水とは全く其性質を異にす
色を白くしきめをこまかに光艶をだしうつくしくなる殊に化粧に用ゆれば白粉自由自在のり毫もむらにならず媚媚たる容姿花の如く艶美なること玉の如し
●本品御注文の節は化粧用美顔水と御指を乞ふ



美顔水 紀州桃谷順天堂 東京橋本 佐々木玄兵衛 支店
美顔水 本家大和屋小兵衛 同日本橋 三田中花王堂 同神田 山崎帝國堂
美顔水 代理店 大木合名會社 同神田 福井甚藏 同神田 松井號支店
美顔水 代理店 田盛眞堂 同日本橋 柳下藤五郎 同日本橋 玉置合名會社

清人の嗜好と化粧品(前)

支那人がサボンを使用する現状は、前述の浴室内の有様にて推知せられ、中流以下の入浴は稀なりといふべし、然るに本邦商人が、斯る状態を顧みずして、粗製サボンを支那向として輸出するは何の爲ぞや、支那人にしてサボンに使用せんとする上流社會ならんには、本邦粗製サボンを用ひるものあらんや、歐米商人は支那向サボンとして相應に原料と香料とに注意し、中等以上の製品を輸出しつゝあるは、それが使用の現状に鑑みての事にして、本邦商人の失敗の舊慣を改めざるとは、零境の差ありと謂ふべきなり。

次に洗濯サボンに就ては、はなから支那地方に輸出する洗濯サボンは、第一に無臭なるもの、第二に水分の最も少ないものとする、然るに本邦より輸出するものは、多くは一種の臭氣ありて、水分殊に多く、買受授受の間にその量を減じ、形を變ずる事多くして、支那向きとしての資格を失ふ。

支那に向ひて輸出せんとするには、第一に購求者たる支那人の用途如何を調査せざるべからず、第二に輸出する支那方面の氣候を知らざるべからず、單に洗濯サボンは洗濯に用ひるものとし、氣候は上海も天津も漢口も廣東も大差なきが如く思へば、商人としては商賣上の常識なく、製造人としては製造上の常識なきものといふを憚らざるべし。

然らば支那に於ては、いかに洗濯サボンを費消するかといふに、衣服の洗濯にも用ひれども、専ら使用するは食料器物なり、支那の食物は油多く、料理店旅館の如き多數の食器を頻りに用ひる場所にては、洗濯サボンを以て之を洗ふ、故にその臭氣あるを嫌ふなり、而して食料器具を熱湯とサボンにて洗ふことは、歐米にも行はるゝ事なれば、敢て怪むべきにあらず、又支那南部の或部分の外は、概ね空氣乾燥し、水分多きサボンは重量を減じ、形狀を縮少し、往々店頭に散列して目も當てられざる姿なり、されば將來支那方面に洗濯サボンの需要有望なりとするも、用途は食器の洗濯にあること多し、之を思ひて之に適するものを製出せざるべからず。

白粉の如きも、その種類數等に分れ、十三四歳より十六七歳位までの少女が用ひるものと、二十歳前後より二十四五歳位までの婦人が用ひるものとは、その色に大差あり、且つその地方流行によりても、種々の區別をなすこと、歐米に於ける燈火の種類によりて白粉の色を異にするが如し、歐米にては招待者の側に使用する各種の燈火は、都鄙によりて異なり、之と同時にその燈火の光線によりて、自然白粉の色も異にせざるべからず、然るに支那にては夜會等に婦人を招待する習慣なれば、光線に對しての區別はなきも、年少の少女は紅色ある白粉を用ひ、中年以上の婦女は純白の白粉を用ひるの差あるが如し、然れども地方の流行によりて、中年のものも少しく紅色を含みたるものを用ひるものあり、是等の小區別に至りては、殆んど枚擧するに遑あらずとす。

而して之に施す香料の類も、亦千差萬別なりと雖も、常に支那人の鼻頭に香料として普通通用せらるゝものは、麝香と龍腦とを以て大王となすが如し、又玫瑰の香料を嗜むものもあるも、第二等にして、近來はミミレ等を賣する輩も全くなきにあらず、而もこれハイカラ連中のみれば、其の數至て少し、故に我より支那向き輸出とする化粧品には、麝香龍腦の香料を專用するを以て、自下の得策とせんか。余、官商記者。

氣分を爽快に
口臭を去り、馥郁な芳香を放つ



THE GREAT MUSE
日本製造 東京 山崎兄弟商會

第一の國中良劑也
旅行に携行するに
常備せしむるに
深き場所に行き
疲れたる時
常用せしむるに
第一の國中良劑也

山崎兄弟商會
東京 山崎兄弟商會
東京 山崎兄弟商會

春かほり
高寺ふけり香油



本舗 誠堂
東京 山崎兄弟商會

力丸
はみ及京尾明



町張堂

製造發賣元
東京通運部



大和屋小兵衛

定 價
大瓶 貳 錢
壹函三十六本入
小瓶 壹 錢
壹函六十本入

此の款の露を用ゆるときは如何にかねの早くも必ず三十日は聯合せしむるに一月一度にて上し且つ男女とも齒の穢き人は毎朝楊枝に附て磨けば齒を美白ならしめ齒の根を固む

直 輸 入 元 西 洋 雜 貨 大 阪 市 東 區 南 船 場 大 和 屋 小 兵 衛
日本一手販賣 直 輸 入 高 松 梅 治 郎 本 店

油の代
井筒屋油店

此の款の露を用ゆるときは如何にかねの早くも必ず三十日は聯合せしむるに一月一度にて上し且つ男女とも齒の穢き人は毎朝楊枝に附て磨けば齒を美白ならしめ齒の根を固む

井筒屋油店

石印香水
元賞 發東澤入
堂英日

商標
關東一手
賣捌元

獨石印香水
液香水用品
はつた香水

CAMEL MUSK SOAP
BY MAIR
TAHET INOUB & Co.
印ダクラ


自製石印
ムスク香水廣告
松澤常吉

扇問屋
御進物用御姓名入扇は勉強調製仕候
東京市日本橋區堀江町貳丁目
平谷合資會社

店約特内市
武真廣富灰石
井原岡岡井
龍金初商
三盛次助
九柳長田
見和下藤中
善小藤富
兵衛五郎定
衛五郎佐
鈴木守平天
木田水野
花實開枝
堂兵衛花平
關西代
名古屋末廣町 伊藤重藏

ラダ印香水石印ハ高貴なる麝香に愛され、スミレの香料を多量に含む故、壹度使用せし其香氣身元永く手拭、タオル、ハンカチ等及び浴後のゆかたに至る迄、遠くまでその香りを先きする効力、舶來品にも未だ見ざる一大特點を有す。

イクラス化粧
品質確實 價格低廉
合資 社 辻屋商店

戦捷 紀念
製造元 敷島館
東 奈良勘商店
二 前田彦七
三 藤森源之助
四 兒玉伊助
五 小林寅次郎
六 鈴木勘商店

各國大博覽會賞牌受領
精製御香
古今寶香
伊勢屋三太郎謹製



化粧品問屋
富士汐見儀兵衛
電話花二千百十八番

登錄
折花文明
水鏡
伊勢屋三太郎謹製



小判后
七五二一電本買發室實三町本京東



中村新十郎



●海外生利の分配
●同業組合の發達
●旅費の節約
●世論梗概 各新聞の要點

●海外生利の分配
●同業組合の發達
●旅費の節約
●世論梗概 各新聞の要點

●海外生利の分配
●同業組合の發達
●旅費の節約
●世論梗概 各新聞の要點

●海外生利の分配
●同業組合の發達
●旅費の節約
●世論梗概 各新聞の要點

●海外生利の分配
●同業組合の發達
●旅費の節約
●世論梗概 各新聞の要點

●海外生利の分配
●同業組合の發達
●旅費の節約
●世論梗概 各新聞の要點

●海外生利の分配
●同業組合の發達
●旅費の節約
●世論梗概 各新聞の要點

●海外生利の分配
●同業組合の發達
●旅費の節約
●世論梗概 各新聞の要點

●海外生利の分配
●同業組合の發達
●旅費の節約
●世論梗概 各新聞の要點

●海外生利の分配
●同業組合の發達
●旅費の節約
●世論梗概 各新聞の要點

德田多助製

名譽御用品

御打粉

京東 角り通橋 製助多田德

汗性の人眼前に奇効 顯る涼風に吹く、如し行水及び浴後に衛生的の必要品

○效能確實芳香三ノ年間保つ請合

○品位優等年々顧客の信用を増す

包形ち同じの偽物澤山有るせ知らずの五文字と德田多助に御注意を乞ふ

店賣卸 縣各阪大京東 屋問卸品粧化



特約店
(順ハロイ)
馬喰町 同 同
浅丸萬伊 井善新 本商商 店店店
同 同 横山町
森水江 本野川 支商商 店店店

金系 新案 簞 用 簞
號七六七第

東京發賣元

夏向桃山模様
(レース)(絹糸)(金銀系)
(各種製)
簞 目 市 松 編 子 松

新發明 甘世紀 美人化粧香

本舖 名古屋 森本支店
關東發賣元 東京 森本支店

薄化粧用
すみれ白粉は益々愛顧諸君の賞賛を博し時世の進歩に伴ひ日新改善の方針を採り弊店獨特の化學的炭水素の新成體と之れに歐米に於て専ら流行せる最新香料を加へ配劑しあれば白粉の特性として蓋も開然する所なく能く肌膚を艶美ならしめ天然の麗質を害す事なく殊に高雅なる芳香は麗都として長時間保續するの性あるが故に宴會祝席等雜踏の場所に臨みて衛生上有効の逸品なり



THE BEST MADE SUMIRE VIOLET PASTE



SUMIRE WASHING POWDER



純良なる品質
石 鱈
御注文は着金順に發送致候 目方百袋入貳百目に付小包料又は運賃御添被下度候

繪葉書福袋
目下大評判の弊店發行(繪葉書福袋)かたのしみの儀は價格以上 貳錢參錢 五錢、拾錢以上の品が出来ますから皆様に急御試買を願升 定價 壹袋(壹枚)入壹錢五厘 御直段(百袋)入金壹圓

すみれ白粉は益々愛顧諸君の賞賛を博し時世の進歩に伴ひ日新改善の方針を採り弊店獨特の化學的炭水素の新成體と之れに歐米に於て専ら流行せる最新香料を加へ配劑しあれば白粉の特性として蓋も開然する所なく能く肌膚を艶美ならしめ天然の麗質を害す事なく殊に高雅なる芳香は麗都として長時間保續するの性あるが故に宴會祝席等雜踏の場所に臨みて衛生上有効の逸品なり

製造本舖 伊勢吉壽美禮堂謹製
東京市東兩國元町(兩國橋際)
井上太兵衛 同區通町
堀井長兵衛 同區通町
萬原金五郎 同區通町
田中花三郎 同區通町
武井龍三 同區通町
山田盛三郎 同區通町
柳下藤五郎 同區通町
大坂博勢町二丁目 小林支店
京都市寺町通原上 長岡清助 名子屋市町七 村上庄造
名古屋市中區 鏡屋正七 名古屋市中區 大木吉次郎

ダイヤモンド

がはきみ

原料非凡。芳香非凡
體裁非凡。効驗非凡
總てが眞に非凡
なるはダイヤモンド
ノト齒磨のみ

專賣特許
文明的
美人
紙粉

製造元東京花蝶園中島

美人紙白粉ハ數千ノ白粉中尤モ**進歩シ**
タル**斬新ノ白粉ナリ**
美人紙白粉ハ**夏季片時**モ放スベカ
ラザル佳品ナリ

美人白粉ハ白粉中ノ**諸要素ヲ完**
備シタル**專賣特許ノ白粉ナリ**

發賣元 馬喰町壹丁目
平尾 贊平

特約店 同 三丁目(いろは屋)
武井 龍三

同 丸見屋善兵衛

食鹽製
牡丹齒磨

東京府下北豊島郡日暮里村
製造元**東洋食鹽株式會社**
發賣元 電話下谷一四九二番
(特約大販賣所ハ略ス)

第五回内國褒狀受領 種類

ホワイソ

印ラバ

西洋水石

粉白

ねり製
器大
器小
入打
入打

水し製
増大
増中
増小
入打
入打
入打

功貴等高
水粧化

輸入元 横濱 葉山商店
發賣元 東京市日本橋區馬喰町四丁目
内外小販物化粧品問屋
丸善商店
電話〇ミヤ國電話浪花四四八番

懐かし
中る紙
小町紙

東京市日本橋區馬喰町二丁目十九番地
毎月一日、十一日、

高評石鹼

石鹼

一號は品質純良一度使用すれば磨香スミレの匂ひ數日身體に蒸り香水の代用を爲す
二號は形狀甚だ大芳香馥郁として化粧衛生經濟を兼備せし佳品なり

博愛

石鹼

最新高等化粧洗料

レテ

粉洗

發賣元 東京市日本橋區馬喰町
丸善商店

虎印石鹼

壹號 磨香入香水代用
貳號 芳香入
東京本所線町 芳誠舍

油トリ兼用 發賣元 脇田盛眞堂
紙おしろい

東京 横山二

之ヲ石鹼

針問屋

東京市大傳馬町二丁目
住吉屋
上田長右衛門

オリエン

多しの和毒
フラワー
おしろい
色を白くす。
フラワー水
東京市日本橋區馬喰町五番地
花生堂

東京市日本橋區馬喰町二丁目十九番地
毎月一日、十一日、
廣 五號活字拾九字詰
編輯者 鈴木 久七
東京市日本橋區馬喰町五番地

東京化粧品新聞

No. 380 (Tri-monthly) (The Tokyo Toilet Trade Journal) Tuesday July 21st 1906.

本舖 東京 安藤井筒堂
代理店 大阪 藤森源之助



特別廣告
專賣美術罐入發賣
專賣特許
美術罐入
安藤井筒堂

韓國風俗



處女街を上行のく圖
(後井組合頭取寄附)

菊盛をみどり
美人箱入定價(六個入壹箱)金壹圓八拾錢
美人箱入見本御入用ノ方ハ郵券貳拾錢御送
附アレバ壹個御送可申候

東京市京橋區
新町拾四番地
菊盛堂 吉岡喜十郎



帝國化粧品
俱樂部製
輸出入雜貨
化粧品商
帝國化粧品
俱樂部製
總代理店
中山太陽堂
代理店
大和屋小兵衛(通 鹽町)
田中花王堂(馬喰町三丁目)
佐々木玄兵衛(銀座一丁目)
協田盛眞堂(横山町三丁目)
柳下藤五郎(通 油町)

洗面香水
色白くなる
セーネー
東京日本橋本町
町三丁目三松本堂

完全無鉛白粉
御國白粉
御國白粉
御國白粉
御國白粉

第五回博覽會賞牌受領
白ゆり白粉は内務省衛生試験所の試験に於て舶來品共四十四種の内第一位に表明せられたり
大和屋 協田 柳下
丸見屋 田中 安藤
佐々木 小林 廣田
近江屋 平尾

名切
丁丁化粧品
電話浪花 一四七三番
一定價目金壹圓
壹ヶ月前金壹圓
料 特別廣告金壹拾圓
行數回数割引なし
印刷人 武 廣 和 雄
發行所 東京小橋區新町拾四番地 菊盛堂

組合録事

○七月九日 組合員芝區金杉川口町二十二番地鈴木保五郎君より左記入三君共謀不都合の行爲ありたるを以て解雇したる旨届出ありたり

佐々木貞一 廿二年 山田辰五郎 廿二年 萩森秋作 廿六年

右に付組合員は組合規約第十條に依り雇入れを爲すことを得ず

○同十一月 午後一時より日本橋俱樂部に於て明年三月より上野公園に於て開設せらるべき東京勸業博覽會出品に關し臨時組合員協議會を開きたるに組合出品者一致共力して出品の効果を收むるを以て目的とし之が出品の便利を圖るために出品同盟會を組織することとし議定したる規約左の如し

東京勸業博覽會東京小間物化粧品部 御商組合出品同盟會規約

第一條 本會は東京小間物化粧品同盟會と稱し本組合員にして本會の趣旨を賛成し東京勸業博覽會に出品するものを以て組織し事務所を本組合事務所内に置く

第二條 本會は會員一致協力して各自營業品の出品に關する諸般の完成を圖り出品の効果を收むるを以て目的とし

第三條 本會の業務左の如し 一博覽會に關する諸般の通知

出品願書、出品目録、出品解説書等の作成

一 出品場所の要求 一 出品部類の整頓 一 共通装飾 一 其他出品に關する一切の業務

第四條 本會は本會一切の事務を處理するため會員中より委員七名を選舉し委員の互選を以て會計主任一名を定む

第五條 會員は會費として明治三十九年八月より毎月金壹圓を出金するものとす 但中途より入會したるもの、會費は本年八月に遡りて徴收し中途退會者の既納會費は之を返還せざるものとす

第六條 東京勸業博覽會閉會し本會々務終了の後運轉なく諸般の報告を爲し會計剩餘金を生じたる時は會員に割戻し本會を解散す

第七條 本規約に規定なきものは委員會又は總會の決議に依る 引續き委員を選舉したるに其結果左の如し 長瀬富郎君 小林富次郎君 淺井碩成君 安藤福太郎君 佐野小兵衛君 三輪善兵衛君 平尾贊平君

飾箱調製、共通装飾等に關しては各自其方法を宿題として考究し更に出品者協定の總會に付し協議決定することとし

右に付き事務所には直に右入會の申込を受ると共に差當り出品願書等の作成を致し後に付事務所へ御一報次第事務員參店可爲致候

○同十八日 組合新加盟者 營業所 東京市官橋區新町十四番地 商號 菊盛堂 氏名 吉岡喜十郎

勸業博覽會廣告選登報告

當商報去月二十一日より本月十一日に渉る三回の紙上に掲載せられたる新意匠の廣告に付本月十一日臨時會に於て役員會を開き審査したる結果左の如し

第一等 レデー洗粉廣告 (七月十一日一頁掲載) 丸善商店君

第二等 アイロール廣告 (七月十一日一頁掲載) 脇田盛眞堂君 第三等 ライオン齒磨廣告 (七月十一日一頁掲載) 小林富次郎君

名刺 本徳田製 名刺 本徳田製 名刺 本徳田製

次點 鹿はみぎき廣告 (七月十一日一頁掲載) 長瀬富郎君

二十一點 象印はみぎき廣告 (七月十一日一頁掲載) 安藤井尚堂君

二十點 衛生安氣前髪しん廣告 (七月十一日一頁掲載) 原田岩松君

右報告す尚ほ新意匠の廣告幾々御届出あらんとす切望す

寺澤大阪化粧品同盟會長の引

大阪化粧品同盟會會長として多年同業に於ける斯業界に貢獻せられ工業組織の地たる同地の斯業界をいやすべく盛昌運に誘導せられたる寺澤學兵衛氏は現れて二亞の侵す所となり醫藥を加へられつゝありしが藥石もその効を奏せず本月十六日といふに驟然永眠せられ越えて十八日葬儀を營せられたりといふが戦後發展に伴ふ風俗上に斯業の益々振興を要するのときに當り斯業界の斯の人を奪ひ去らるゝは痛恨哀悼の至りに堪へざる所なり茲に謹んで氏の訃を悼んで哀悼の意を表す

●ホルマリン石鹼の成績 日本橋區本町三丁目なる岡城氏の製法に係るホルマリン石鹼は世上大抵定評を得たるものなるがその消毒専用の分が夏季に於て日用の特効あることを認する爲め東京縣微病院に依頼して殺菌力の試験を行はたるにその五十倍至乃百倍の稀薄量にてコレラ菌志賀氏赤痢菌腸炎桿菌に對しては十五分間以上百斯菌菌黃布桿菌に對しては三十分以上にて殺菌の効を奏するものなることを證明せられたりといふ

●御用おしりの盛況 御料御園おしりのいとしいへば人は無御おしりの元祖として迎ふるもの多かるべくその需要の無なる盛況を呈しつゝあること人皆知る所なり然るに同おしりの好評は日を逐うて加はり需要日にますます多く製造に日を以て夜に繼ぐも尙ほ足らざる程にてその盛況口筆の及ぶ所にあらずと云る斯業界は語られたり

●撫順の炭鑛 撫順の炭鑛に就ては農商務省が陸軍省より依頼を受けて二回に分折試験を行ひ其の良好なることは充分確められたり尙ほ練なる技師の職に據れば同炭鑛には普通炭鑛に有り勝ちな坑道出水及び瓦斯爆發の二大病源なし炭質の豊富なるは言ふ迄もなく現今は曾つて三井物産にありて斯業に老練の聞き高き大谷木理學士を主任として探掘し居り出炭量一日四百噸を出でざるが鐵道經營と共に諸般の設備を整へて盛んに探掘するに至るべし茲に同炭鑛の經營は九州北海道其他内地の石炭業に影響を及ぼすべしと説く者あるも蓋し杞憂に過ぎざるべし何となれば撫順炭鑛が如何に無事となりて盛況なく探掘し得ざるものにあらず亦探掘量比較的少なければつて注外の炭價に賣出すこともなかるべきを以て也

●御用おしりの盛況 御料御園おしりのいとしいへば人は無御おしりの元祖として迎ふるもの多かるべくその需要の無なる盛況を呈しつゝあること人皆知る所なり然るに同おしりの好評は日を逐うて加はり需要日にますます多く製造に日を以て夜に繼ぐも尙ほ足らざる程にてその盛況口筆の及ぶ所にあらずと云る斯業界は語られたり

●御用おしりの盛況 御料御園おしりのいとしいへば人は無御おしりの元祖として迎ふるもの多かるべくその需要の無なる盛況を呈しつゝあること人皆知る所なり然るに同おしりの好評は日を逐うて加はり需要日にますます多く製造に日を以て夜に繼ぐも尙ほ足らざる程にてその盛況口筆の及ぶ所にあらずと云る斯業界は語られたり

發明界の新紀元

昔は造化の巧、天工の妙に畏服したれども、今は人が自然の法則を知りし、之を自家の用途に充つるの手段を講ずるに至りたり、その手段は所開發明にして、斬新獨創の考案を凝し、世人未知の効用を開闢するの智能が生産物に現れり、試みに例を擧げんか、世界より電氣に關する諸發明を除き、去したりとせよ、電燈は消えて行燈となり、電信は變じて早脚となり、電話電車もなき世とならん、又蒸汽に關する各種の發明を除き、陸には汽車の設なく、行旅交通の便を欠き、海に汽船の備なくして、内外の航路は塞がり、各工場は其機械を運轉する原動力を失ひて、空しく閉鎖の運命を免かれざるべし、是を以て見るも、發明が社會の文明進歩を造り出したることの大なるを見るべきなり、

今や我國民は戦後の經營に其の心血を傾注すべき時なり、富國強兵、國利民福を謀る上に於て、發明は絶好の題目なりと信ず、斬新獨創の考案工夫を完成するには、すべからざる苦心經營を要す、而して發明家が多大の費用と時日を抛ち、一生の膏血を投じて得たる發明に對し、社會が相當の保護を與へざれば、忽ち被搶奪流の窮乏に墜ちたり、折角の苦心も水泡に歸するに至るべく、又社會の方がより觀るも、一發明の出現あれば、それだけ社會そのものも利益を受けることなれば、其の利益ある發明家を爲したる發明者に對して、相當の報酬を拂ふべきは理の當然なり、この報酬と保護とを與ふべき制度なくば、人は進んで發明するものなく、社會は依然として舊態を改めざるべし、これ今日の社會に於ては、特許制度の設けあらざるなき所以なりとす、

特許制度の設けあらざるなき所以なりとす、

特許制度は社會が發明家の功勞に酬ゆる爲めに、一定の年限間、其の發明より生ずる利益を獨占せしむるの權を與ふる制度にして、是に由りて發明家は安心して發明に従事し得らるるものなり、又社會はその年限満了の後、隨意にこの發明を使用し、之が利益を享有し得べきなり、故に苟も其の國の文明が如何なる程度にあるか、國民の智能のいかなる方面に發達せるかを知らば、特許發明に付て見るを捷徑とす、

今千九百四年に於ける世界各國の特許數を擧ぐれば、

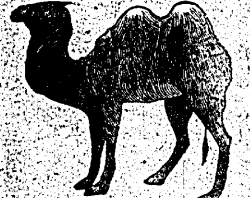
| | | | |
|-----|---------|-------|--------|
| 米國 | 七十八、九〇九 | 佛國 | 三六、〇九一 |
| 英國 | 三三、六八九 | 日 | 一八、〇三一 |
| 獨逸 | 一七、五五九 | 加拿大 | 九、六五四 |
| 西牙 | 六、八四八 | 埃國 | 三、八九七 |
| 伊太利 | 三、四四八 | 露國 | 三、〇七二 |
| 包那利 | 二、七五九 | 瑞典 | 二、一九五 |
| 露國 | 一、六二二 | 諸國 | 一、一七六 |
| 日 | 一、一〇一 | ラトヴィヤ | 九、七〇六 |
| 日本 | 八、四一 | ラトヴィヤ | 六、二五六 |

是に由れば、本邦は世界の第十七位に居り、遠かに列強の塵を摩し得ざるも、本邦の特許發明中、二萬圓以上五萬圓以上の價格を以て、讓渡、買入せられたるもの少なからず、世上に實施せられつゝある發明品の中に、社會の各方面に至大の便宜を與へつゝあるもの少なからず、現に産業界の各方面に於て新紀元を畫せしめ、本邦の製産工業をして面目を一新せしめたるものあり、是を以て余は、本邦特許發明界が、將來に於て世界の耳目を驚かすべき偉大の發明を生ずべきことを信するものなり、

若し朝野一致して之が保護獎勵の實を擧げんには、今後大に振興すべきは必然の勢にして、決して皮相的觀察家のいふが如きものにあらざり、余は我が國が一躍して宇内一等國に列したるが如く、我發明界も亦別強と比して其の歩武を進め、世界の耳目を驚動することを確信せんとす、

CAMEL MUSK SOAP
TARET INOUE & Co.

印ダクラ



ラダクラ印麝香石鹼は高貴なる麝香に愛すべきスミレの香料を多量に含むが故に皮膚を清潔に保ち、其の香氣を身に充ち、手拭、タオル、心カチーフ及び浴後のゆかたに至る迄、うり香たし、五百問、香をもち、その効力を失はざる、効力相米品にも未だ見ざる一大特點を有す

- 市内特約店
- 石井 商店
 - 井田 商店
 - 金屋 商店
 - 三和 商店
 - 九和 商店
 - 見屋 商店
 - 守水 商店
 - 木田 商店
 - 花屋 商店
 - 名古屋 商店
- 支店
- 大阪 博愛町
 - 西代 林
 - 伊藤 重藏
 - 井上太兵衛

虎獅子石鹼



美人ナトル原

アイロ



化粧粉白王花
舖本粉白王花
町山横京東
堂眞盛田脇

録登匠意府政本日



シルバーカシヨ

本品は目下歐米諸國に於て紳士淑女の交際用食品として専ら流行しつゝある小粒の銀玉に於て其美味高尚なるのみならず、器機裁新意匠に係るものなれば、携帶の便利は申すに及ばず、藥用の口直し小兒の常用品として無比の逸品なり

大罐 四百五十粒入 四十錢
中罐 二百五十粒入 二十錢
袋入 百粒入 十錢

英國ロンドン
ロントリヤ社

特約御留の方は化粧品商標事務所迄御申込を乞ふ

廣告の秘訣

第一節 吾人の注意を喚起するには、この注意を打消すべき勢力の存在せざることを要す、他の事情を同一なりとせば、或事

物に吾人の注意を喚起するの機會は、その事物を打消すべきもの、存在せざるに比例するものなり、その事に關してスコット博士は、實驗の結果を以て證明したり、即ち適當大のカードに四文字を記し、或人をして一分の二十五分の一時間を見しめば、最初の程は四文字を明確に讀み得たりし、後之にかへて四文字を加ふるに及びては四文字を讀み得ることは前に異ならざるも、此度如何なる文字が讀まれたるかにつきて明確なる印象を其の人に與へざりき、此の如くにして漸次その文字を増すに從ひ、或特別なる文字の其の人に與ふる印象の減するを見たりといふ、知るべし、或程度までは文字を増加するもすべし見得らるべきも、其の數を増すに從ひ、或特別なる文字の明確に見らるべき機會の減少することを、而して普通の雜誌の如きは、普通の距離に於て、視野は一百を包含して他に及ばざるを以て、双方の間に其に四文字を置くも、互に相妨げて其効力を減殺することなし、故に他の事情にして同一ならんば、全頁大の廣告は、恐らくは人の注意を引かざるべし、此の點よりいふときは、廣告の大小は注意せらるる機會の多少を決するものなりといひて可なり。

以上述べし所によりて、一頁大の廣告は其の効力最も多きも、同じ頁に同様の廣告が雜然として存在するときは、互に其効力を減殺することは明かなり、されど此の點は必ずしも他の頁に同様の廣告あるの

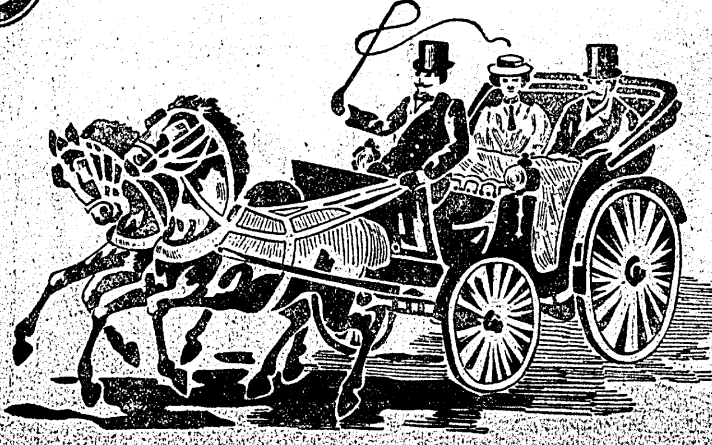
不利なることを説明するものにあらず、否或雜誌中唯一の廣告、或は他に同様の商品の廣告なきは、決して其の廣告の利益となるものにあらずなり、即ち八箇の自轉車の廣告が、一頁に出づるときは、此の原則により、互に其の効力を減殺すべきも、各頁に一づつ、相つぎて八頁の自轉車廣告あるときは、決して其の効力を減殺せず、反りて讀者をして其の各を見しむる効あるものなり、此の原則によるるときは、一頁内にある一廣告とて、繁雜なる文字繪畫を以て充たすは、効力を減すること大なるものなり、時としては其の廣告の活字體の適當なる配合によりて、効力減殺の害を避くることを得べし、されども甚だ巧案を要するを以て、なるべく廣告は簡單なるを宜しとすなり。

第二節 吾人の注意を惹起する力の大小は、其の目的物の吾人に與ふる感覺の強弱によるものにして、電車の前方にある燈火、或はシグナルの赤光は、夜間吾人の感覺を引起すこと強きが如きは、其の一例なり、又動けるものは静止の状態にあるものより吾人の感覺を惹起すこと強きが故に、市内廣告に樂隊旅行列等種々の移動するものを用ひるなり又色によりて感覺に強弱を生ず、ゲル教授の實驗によれば、赤色は最も注意を引き、綠色に次ぎ、黒色は第三に位なり、而して白地に黒文字は、黒地に白文字よりも有効なるは、非難すべからず、又活字の大小形勢も亦大なる關係を有す、太くして大なる活字は、單に多くの場所を占むるに止まるものにあらず、之れが効力を減殺するが如き他の文字の存在を現はすすして、更に眼を刺戟すること多く、從つて強き感覺を與ふるが故に、注意を惹起し、大なり、實驗の結果によれば、活字の注

意を引くことは其の大小に比例すといふ、夫れ人の眼は官能機之如し、其の機能に落ちる事物は、明瞭に之を見ることを得れども、其の他の物は、多少朦朧たるを免れず、故に新聞雜誌廣告に於ては、其の機能を通じて結核の地位にあるものは、吾人の注意を惹起すること多く、其の以外にあるものは、之に反することは、新聞雜誌廣告位置の選定を忽せしむべきなり、即ち新聞雜誌の讀者は、之を細くして際して、何れの部分に其の視線を向くべきや、又終りやは雜誌の初めより讀み初むるや、又終りやは、或彼の眼は先づ紙面の上部に注がる、や中央に注がる、や、將て下部に注がる、や、彼の眼は紙面の右側に多く注がる、や、左側に多く注がる、やは、廣告者の大に研究を要する所なり、而して是等の事項に關して、眞々議論紛出したれども、未だ十分なる研究を遂ぐるに至らざるなり、(金生)

廣告者の果 廣告は商品販布の最良法なり、商品販布の爲めに金を費すは商人として最て厭はるべき所なり、然らば高き廣告料を拂ひて多く擴布するは商人の喜びて爲す所、之に反して安き廣告料なればとて些少の金を費消し、而して些の効驗の見るべきものなくんば其些少の金は無駄費消たるなり、殊に競争商人は其の爲を爲さざらん、廣告料は其の發行の部數に應じて定めらるるものなり、高きものは部數多きを示し、安きものは少きを示すも、効驗の上よりいへば高きもの安きもの高しと知るべし、(近時自ら稱して何萬を發行すといひ、而して廣告料は貳參錢に過ぎざるものありと眞に萬以上を刷出して貳參錢を以て足れり、とせ、其發行者は眞に無盡の富を有する者、帝都の中央に在る商人は此の種可怪のものに對して信を推くものなし、假令代て出さず効驗なきが生きたる證據となり無代て出さずして諸の外自ら出さずはなし、)

CREAM SOAP



クリーム后嶺 は「カールト」の牛乳及び香料を加へ製造せし、故に日常之れを使用する時、一度御使用の上、虚言にあらざるを知られたし、日本政府登録商標。

輸入元 東京小間物化粧品卸商組合 東京小間物化粧品卸商組合 東京荒物石鹸卸商組合 東京化粧品製造業組合

成功の秘訣 (承前)

非物質的の成功は全く異なり、これにより一物を購ふに足らざるが、しかも多量の人をこれに惹きつけること、甚し。奇怪なる人間の矛盾性なり。八百屋が胡椒の袋にてもこの種の成功者に與へざるべきも、しかも人はかかる價値なき成功を得ん爲に時日を費やし克己忍耐を敢てす、否、とき金銭をさへ抛つて踏躓せず、而して漸く得たる成功の結果は如何にといふに、他人が街の上にて挨拶せらるること、新聞紙が風々其の名を記すること、若し成功の度高ければ、伯爵とか博士とか形容詞を付けて記せらるゝ也、或は夜會宴會に招かれ或は肖像を繪葉書に印刷さるゝ、非物質的の成功の利益はかかることなるか、世人がこれを求めんとするの念盛なり。予が今宴會の招待をも非物質に數へしは、其の山海の珍味よりも其れに列するの名誉を世人が重んずるを以て也。

現今の學校は上に述べし物質的の精神的の満足を得るの術を教へつゝあるか、成功の道を開くに必要なる機械を授けつゝあるか。小學校は多く云ふの要なし。この時代の小兒は未だ重要な研究をなすの程度に達せず讀書作文算術の初歩を修むるに過ぎずして、此等は後日の成功に向つて多少の裨益あるならん。殊に算術は確に必要にして、他人と金錢物品を授受するに當りて、損をせぬやうに準備して置くべき也。讀書作文も後日これを誤用せぬやうに警戒せよ必要なべし。大學校も或度までは無用ならざるべく成功者たる教師との學校、諸様の會合によりて、有用なる學生は成功の要素を觀察し、

現代の嗜好を認め、其の好みに投ずる手段を講ずる便あり。されどこれに反し、中學高等學校の教育は成功の手段として功能少きを有す。此等の學校には社交を排斥し、冗漫なる講義、乾燥無味の練習にのみ貴重な長日月を徒費して、迂愚の徒を養成するに過ぎざるのみ。ホレーやホーマー(日本ならば漢文國文)を學びて如何なる實際的利益がある。後日惡果紛々たる新體詩を解し得るに過ぎざるべし。又古代の人物を研究して何等の効能がある。後日貧民學校の教師となりて學者よつて講義をなし得るに過ぎざるべし。

かくて現在の學校教育には無用なる課程に滿つるも、成功に飲べからざる秘訣は授けざるやう也。而して予が理想は只人生成功に必要な者のみを授け、空理を斥けたる學校を設立せんとするにあり。元より今日の知名の人にてかかる教育を受けずして成功したる者も少からねど、この事實は蓋も予の理想を打破するに足らず、案内者なくして大山に登る者もあれど、彼れは風々道を失して無用の勞をなさるべからず、人生の旅もその如く、案内者と地圖とを得るは成功の頂上に達する爲に利益多かるべし。(未完、パラソラス)

格言

▲マッチナイフ曰く。汝の成功するにせざるは、主要の問題にあらざる。主要の問題は、男らしく活動するにあり。賢にして且善なる主義の上に立て、汝の所信を遂行するにあり。

▲ニーゴ曰く。運命我を造り、我亦運命を造れども、然かも余は意に、我が生涯に、運命の奴隷なりしを見せり。(未完)

人格の修養 (承前)

吾人は既に自から進んで奔馳奮闘する激流の中に投せり、然らば、いかにして之を乗り切るべきか、吾人は激流の中に飄轉せられながら、「斯く我を推し流すこと勿れ」といふも、心なき激流はいかにか吾人苦叫の聲を聞くべき、即ちこれ到底不可能の事に屬す、然らばいかにして急流の中より救ひ出すべきか、他なし、吾人を庇護し、吾人を激勵し、常に吾人の前後左右に實在して而も眼見ること能はざる大なる或者に依頼すること即ち是れなり。

然れども余は諸君に向ひ、その或者の名を指示する事なかるべし、如何となれば、諸君が現に通學しつゝある學校の先生は、必ず諸君に向ひてその名を指示すべきを以てなり、然れども余はいかにいかなる場所、又はいかなる場合に於ても、諸君を激勵し、諸君を指導する唯一の一大教師は、諸君の生命即ち是なりと。

中世紀に行はれたるし傳説は、吾人に教へて曰く、「神と惡魔の中間に位したる一天使は、その何れにも属すること能はずして、茲に人間となりて更生しぬ」と。

諸君試みに心を静かにして既往の史乘に見よ、是れ豈に人間競争の一大闘争に非らずして何ぞ、然れども其の初め、人間が享有したりし惡魔の性質は、年々もに減し來りつゝあるは微ふべからざる一大事實にして、諸君は決して之を忘却すべからず、英國の大詩人として、其の名を背史の上に輝かせる詩人ミルトンは、この惡魔及び神の一大闘争に就きて、忘らるべからざる大篇失樂園を書きぬ、而して余は信ず、諸君は必ずや早晚その大篇を讀むの機に際會すべきこと也。(未完)

はら 毒水 煉 洋 晶

森本支店 森本本店

森本支店 森本本店

森本支店 森本本店

新發明 美人化粧香

薄化粧用

本舖 森本支店

東京發賣元 森本支店

高華化粧用

二八水

色を白く キメ技よくする

東京馬喰町長瀬

世の化粧は皆化粧品に依りて

芳香水原精あり

特約取賣 吉部

品社一セクサ一ルハルン

賣取約特

酸石ナ一ホ水香クスム

舖本

日丁四町石本區橋本日本町京東

吉部 常深松

部料香

實業家と補習學校

白雲頭を擡げ、叱咤を吐くは、塵世に身を投じて、漸く長じて一定の年期を過ぎたならば、實業家たること能はざるや。その舊態は去れり、學校教育を受けて、何博士とやらを稱號を受くるにあらざるや。文明社會の實業家として立つこと能はずと、ハイカラ主義も、實際に適せずして遠く排せらるゝに至れり、然らば則ち實業家たるもの、實地商習慣に熟するのみにして可なるものにあらず、學理と空論をのみを以て從事すべきものにあらず、須らく學理と實地とに通曉せざるべからず、是に於てか實業學校は漸く多く、國家の奨勵補助すること亦力めつゝあり、然れども物の中廉を得るは難く、動もすれば偏倚し易し、實業教育の如きは、その最も甚しきものなり、見よ幾千百の學校が養成する徒勞が、卒業同時に實務に熟するの不便なきか、否年月を費して習得したるだけの見なきか、効果を得べきか、その多くが、俊良天才ならざる限り、實地に於て白雲頭育ちの店員の足下にも及ばぬものあるに非ずや。その然る所以は、いかに、實地に於ける専門的経験なく、又之を動かすに足るべき智能缺如したればなり、之に反して白雲頭育ちはいかに、その從事しつゝある業務に對しては、學校出のものよりも精通せん、而かもその盛衰消長の理法を知るものなく、來るべき運命に待つの外、運命に先だちて近き來るべき機会を見出すこと能はざるべし、理想を執守して先づきは可なり、能く進んで進退するは得て望むべからざるなり、學校出身を以て單に無用の長物なり、人材なりと信すべからず、要は實地と學理

とに精通して、機略の材能あるものを求めざるべからず、此の目的を達するには、高等なる學理を究むるを必要條件と爲すべからず、日常の業務を執る上に於て、舊式なる不便の方法を去り、日新の學理に従ひて之を應用し、敏捷活潑に處理し、而して能く世界の事情に通過して、施爲畫策の機宜に適するものを取らざるべからず、此の點に於て學校出の徒弟をして實地に習熟せしむるは最良の方法なるべきも、すべて此の如くならしむることは望むべからざるが故に、白雲頭育ちの店員をして、日新の學理を曉得せしめ、以て實地と學理との調和を保たしむるを急となすなり、東京市がその施設の一として、戦後經營の急務に應ずる一方法として、實業補習學校を設けたるが如きは、能くこの急に應じたるものといはざるべからず、吾人はこの施設の時宜に適したるを喜ぶとともに、その入學希望者の多きを見て、前途の有望なるを祝するものなり、而して更に吾人をして滿腔の實意を表せしむるものは、その課程の日常必要なるものと、專修科に依りて各自の足らざる専門的知識を與ふるの點なり、國民義務教育の制ある今日、白雲頭育ちといへども、小學中途の教育を受け居り、是等の補習として、此の本科を設け、更に專修科に於てそれ以上の教育あるか、又は必要上專修せんとするものを收容するの制は、全く今日實業界子弟の實際を知りたる程度にして、實業家がその徒弟を連れて入學せしむるの盛況を呈したるも、固より其の所なることを信するなり、而して更に幾多の實業家を共に、徒弟をして、將來立身の好基礎を得しむべきことを希望するものなり、然らば即ち實地と學理との調和は得られて、偏重の弊を免るべしを得んか、(補習學校の事は前報を參照せよ)

實業學校

▲學校と實業家の關係 戦後經營の手段として、實業教育を擴張し、盛にせざる可からざるは、何人も認むる處なるが、當局に於ても意を此に致し、毎年設立の實業學校に對して、成規の許す限り國庫より補助を爲し、其の教育の結果を有効ならしめんと爲しつゝあるが、茲に學校をして最も有効に適切な教育を爲さしむるには、世の實業家と學校とを密接ならしめざる可からず、從來實業家にして學校教育を以て實際に注なりとし、教育は單に理論のみ馳するものとして、相手にせざるもの無きにあらず、是れ實業教育の爲めに最も悲しむべきことに於て、泰西諸國の如く、實業教育の割合に發展せざるも、其の原因は、世等の邊に存するると云ふも、過言にあらざる可し、

▲泰西實業學校現況 女子大學校教授たる麻生氏が、女子職業の狀況調査として渡歐するに當り、文部省が殊に氏に囑して實業學校の狀況を調査せしめたるに、氏の報告によれば、泰西に於ける實業學校には、實業家との關係密接にして、實業家に對して批評を爲し、且つ流行及び販賣等に關して指示するあり、學校は其の意見を最も有効にして、其の製作品は時好に適切なりと云へり、

▲金錢の寄附 日本に於て實業教育を盛ならしめんが爲めに金圓を寄附するもの無きにあらず、金圓固より必要なりと雖も、金錢以外に實業教育發達に關する適切な方法あるを忘る可からず、適切な方法とは、實業家にして學校と關係を密にし、泰西實業家の如く、教育及び製作品に對して意見を陳ぶることと云ふなり、此の如きは實業教育を推進發展し、且つ其の結果を有効ならしむるの一方法なり、

宮内省御料品 本舖 東京橋本 小川湖華園

カスカオイ 紳士婦人用 煉香油

カスカオイは、アロエ、コロル、及コス、モス、バネ、オレ、桃、油、ラ、リ、ン、最、貴、重、な、毛、髪、用、に、最、も、適、合、な、る、石、炭、油、な、り、

カスカオイは、アロエ、コロル、及コス、モス、バネ、オレ、桃、油、ラ、リ、ン、最、貴、重、な、毛、髪、用、に、最、も、適、合、な、る、石、炭、油、な、り、

カスカオイは、アロエ、コロル、及コス、モス、バネ、オレ、桃、油、ラ、リ、ン、最、貴、重、な、毛、髪、用、に、最、も、適、合、な、る、石、炭、油、な、り、

東京發賣元

夏向桃山模様 (レース)(絹糸)(金銀糸) (各種製)

籠目市松編み

東京發賣元

馬喰町 伊勢新商店
同 浅井本商店
同 同 同
同 同 同
同 同 同
同 同 同

TRADE MARK

花王 齒磨




本舖東京大和屋



小判后餘
七五二一電本買發堂實三町本京東

解雇届
書店員 内田 治 助
二十一歳
右ノ者今同都合上七月十五日限り解雇致シ
候ニ付此段御通告申上候也
東京馬喰町二角
小間物問屋 池田 徳 次 郎

佛 國 一 一 一 社 會



輸入元大崎組商會

中央支那貿易に就て
漢口は支那の中央市場に當り、上海にも
廣東にも、北京にも、重慶にも、大差なき距
離にて、好地位を占め居り、一面には長
江流域の中心となり、一面には南部支那と
中央支那とを連絡し、中央支那と北支那とを
結び付ける中心となり、交通の便に於て、五
十年前迄は支那第一の商埠取柄盛んなる所
なりしならんと思ふ、而して今日に於ても
現に發達の途中にありて、益々發達すべき
運命を有せり、殊に日本人の事を起すに特
殊の便利あり、それは上海、天津等には、
日本人の對支那人信用は、歐米人よりも大
に低けれども、漢口に於ては然らず、日本
人も歐米人も更に區別なきことなり、
今日漢口に輸入せらるる日本物品の買行
いかんをいへば、一般の雜貨に在りては、
掛時計、硝子器、玩具類、化粧品、文具具
鏡、方眼紙、帽子等を重なるものとなす、是
等の雜貨を通じて一種の面白き現象あり、
漢口に於て買居る舶來雜貨には、歐米雜貨
と日本雜貨との二種類にして、歐米品は品
質非常に宜しくして、一般の民衆に比して高
きに過ぐれど、日本品は大に廉なれども、
一たび買ひたる支那人は、二度と買はず、
雜貨店百二十あり、而してその最も盛な
るは居留地又はその附近にして、ツマラメ
雜貨店は支那町の奥に在り、上等なる店に
は歐米品のみを取扱ひ、ツマラメ店にての
み日本品を取扱ふ、將來に於て歐米品と日
本品とは、何れが見込めるべきかといはば、
歐米品には日本品の如き一度買へば二度と
買はぬものなれば、漸次確實の發達をな
すべしと思はる、之に反して日本品は頭
から粗製にして、時下等のものある、
第二回の發達よりは多く粗製に流るゝ状態
なるを以て、今日の儘では日本品の衰へ

は疑ふなかるべく、故に今に於て上等なる
品物一價は高くとも確實な品一を買
出すの方針に出でざれば、到底見込なきに
了るべし、若し日本品もその品質を改良せ
んには、需要あることとて、買れ行くに至
るは必然の事なりと思ふ、
是に於て余は支那貿易に付き、營業者に
希望すべきは、品質を好くすることなり、
勿論品質によりては工業の功難なるが爲に、
品質を好くすること能はざるもあらん、而
かも多數の製造し得べきものは、上等の物
を出すの方針ならんには、必ず確實なる利
益と發達とを見るを得ん、次は内地の製造
業者又は貿易商と支那人との關係密接な
らしむることなり、歐米人と日本人とは、
此の點に於て大なる相違あり、歐米人の遺
り方は製造業にして、非常に大なるものあ
る結果ならんが、支那人の賣捌人若くは販
賣人との關係密接にして、特約又は一手販
賣の關係となり居り、然るに日本よりの
賣捌關係は、一手販賣又は特約は非常に少
し、品物を確實に賣込むには、特約の關係
を必要なりとす、次は商標を明確にして永
續せしむることなり、支那人は非常に固信
の性質を有し、一度善しと信すれば、實物
を見ざるも、その商標にて取引すれども、
一度悪しと信すれば、多少の改良を加ふる
も、容易に之を恢復することは難し、故に
日本より輸入の物品にも、既にこの現象あ
り、同じ製造元の品にても、商標異なる
が爲めに、一方は十一兩にして一方は十三
兩といふが如く、全く同一物品なるも、商
標の相違の爲めに、信用の度異なること此
の如し、是を以て彼の地に販賣を求めんと
せば、必ず商標を確實にして、その商標を
永く守りて變ぜざるを必要とす、(農務省實
業調査會に於ける小川英三郎氏の報告)

はげ 脱毛 薄毛 人 試み



美人スムク 美人スムク
BIZIN and MUSC
松白クスム美人美

支本 製 山崎兄弟商會
支本 製 山崎兄弟商會
支本 製 山崎兄弟商會

舶來香 水各種
右新荷澤山着致候に付御注文被仰付
度願上候

花王石鹼本舗 長瀬富郎商店
東京馬喰町二丁目

FORMALIN SOAP
ホルマリン石鹼

殺菌防腐皮膚病一切によろし
養蠶家手洗消毒に最もよろし
洗濯用 化粧用

本舗 藥種問屋 圓城 商 慶
東京市日本橋區本町三丁目七番地

三輪 善長衛 柳下 藤五郎 脇田 盛貞堂 齋藤 吉次郎
平尾 贊平 佐野 小兵衛 天野 磯五郎 齋藤 鐵太郎
田中 吉兵衛 淺井 支店 長瀬 富郎 大野 金五郎
仲 徳次郎

電話本局一四四三番

美貌と健康

▲身の飾りの新流行 近頃歐洲の婦人社会には、非常に大なる指輪が流行し、鋼腕飾り...

▲其美貌學者の二注意 外出に先づ、顔を洗ふ際、熱き湯を用ふる勿れ、毛穴を開き...

▲極く廉價の膚乾薬 清き水程膚地の薬になるものはないと多くの衛生家は主張して...

▲神經痛の療法 熱い湯を手に拭き、頭と耳の後面を蒸すのは、頭痛の療法である...

よもやま

▲面白き韓國の俗語 韓國の俗語に、因由を問ひてなかく面白きがあり日本にて馬鹿といふことを、バアサクと云ふ、バアサ...

▲借入と云ふ、外割とは、地方の郡守が取立てたる租税を中央政府に納むるに、貨幣が總て銅貨なりし時は、持運びの不便もあり...

▲借入と云ふ、外割とは、地方の郡守が取立てたる租税を中央政府に納むるに、貨幣が總て銅貨なりし時は、持運びの不便もあり...

▲借入と云ふ、外割とは、地方の郡守が取立てたる租税を中央政府に納むるに、貨幣が總て銅貨なりし時は、持運びの不便もあり...

故て行く、先生は非常に謙遜な方であつて、自分など馬を曳いて野道に出會うと、先生は問も脇へ避けて待つて居られる、湯本の温泉へ行かれた時、地方士族の若いもの等が湯の中で、先生と知らずに無禮をしたことが知れて、其の先輩は大に怒縮が...

衛空生髮前氣 七九二四錄登案新用實 製謹松岩田原

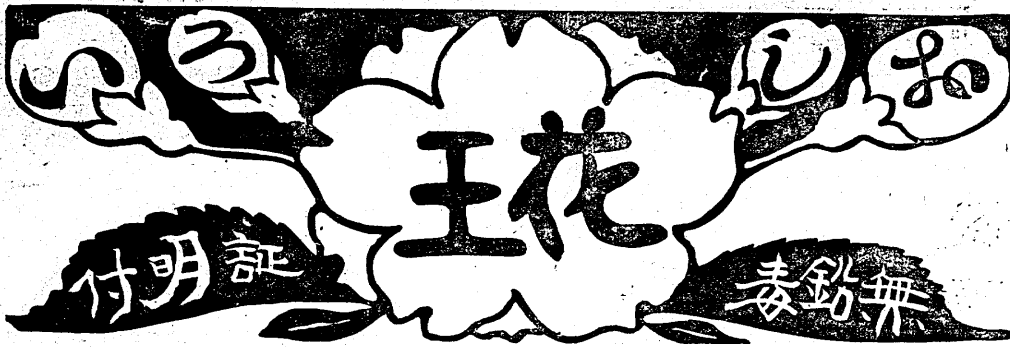
赤石 御髪のかせなをし一各美男桂 水谷仁二郎

松澤商店 かつら松澤商店

SAVON AUX FLEURS PARRUM 貳拾五號 烏帽子石鹼

つるのはね 旅行宴會芝居 東京小間物化粧品問屋聯合

本舖東京
横山町 脇田眞盛堂



内務省御驗査済の
完全無鉛
花王おしろい

パールは學術的の最良香油なり四季的の毛髪ヒケを保護養成し夏期之惡嗅を去り愛すべき香氣を有する世界有數之逸品なり

歐美化粧品輸出大商
東京濱町一丁目
電話一〇一〇
平尾分店
化粧品ホワイテ發賣所

CREME



紳士貴婦人用

PEARL

煉香油



ばら
齒ら
磨

東京
東芝園

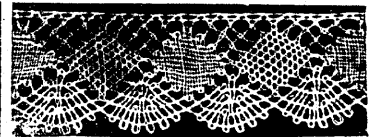
發賣元 青山染料店
東京本町三丁目
特約店 鱒與商店



○紺、黒、赤、淺黄、茶、黄の六種塀入

兔月石鹼

花玉洗粉



舶來雜貨
直輸入

東京日本橋區橋本町(電話本局九八六) 谷商店



舶來
裝飾用
レース
(白無地色模樣)

ワツラ石鹼

